

教育・入試・学生支援戦略

未来社会を牽引する高度卓越人材の育成



文理横断的・異分野共創的な知を
備えた多様な人材を育成

新たな価値を創造し社会実装できる
有能な人材を養成

自ら地球的課題を発見し、
その解決にリーダーシップを発揮
できるグローバル人材を育成

2030

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に
富んだ教育を推進

2022

人材
獲得

優秀な学生獲得に向けての
高大連携・入試広報戦略

神戸
スタンダード

学部生が共通の3つの能力を
身につけるカリキュラム編成

異分野
共創

産・官と連携した
異分野共創型教育の推進

連携型
教育

大学内・大学間連携教育の
推進

D X
推進

デジタル教育体制の充実
ハイブリッド型教育の推進

デジタル
社会

数理データサイエンス教育
の強化

キャリア
形成力
強化

中長期インターンシップ制度
の推進

グローバル
人材

国際共同教育の推進
海外派遣プログラムの充実

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育



学域、機構、学部、大学院、附属学校

大学教育推進機構

教養教育院

学部教養教育の実践、大学院教養教育の実践

グローバル教育センター

海外派遣教育の実践、留学生教育の実践

国際コミュニケーションセンター

外国語教育に関する研究・調査並びに企画立案、支援、環境整備、グローバルコミュニケーションに係る研究・調査等

異分野共創型教育開発センター

教育プログラムの開発とインキュベーション（グローバル教育、課題解決型教育、ステークホルダー連携教育の開発等）

大学教育研究センター

教育に関する基礎研究（DX教育、課題解決型教育、高大接続教育、教育史、科学技術コミュニケーションの研究等）

高大接続卓越グローバル人材育成センター

高大接続等による卓越グローバル人材を育成するためのプログラムの企画・実施、入学者選抜方法の調査・研究及び企画・立案、入学者選抜結果の分析・評価、入学前教育の企画・立案、学生募集に係る広報等

人文・人間科学系

文学部

人文学研究科

国際人間科学部

国際文化学研究科

人間発達環境学研究科

科学技術イノベーション研究科

社会科学系

法学部

法学研究科

実務法律専攻 (法科大学院)

経済学部

経済学研究科

経営学部

経営学研究科

現代経営学専攻 (MBA)

国際協力研究科

生命・医学系

医学部

医学研究科

保健学研究科

自然科学系

理学部

理学研究科

工学部

工学研究科

システム情報学研究科

農学部

農学研究科

海洋政策科学部

海事科学研究科

附属学校

幼稚園・小学校・中等教育学校・特別支援学校

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～教養教育院～



神戸グローバル チャレンジプロ グラム

国際的なフィールドで
行う学修活動を通して、
グローバル人材として
必要な「柔軟性に富ん
だ課題発見・解決能
力」を育むプログラ
ムの成果の一部として提
供する

- 教養教育院提供科目
・グローバルチャレンジ実習

初年次セミナー

神戸スタンダードを
修得するための導入
科目への共通教材を
提供する

- ・初年次セミナー共通教材

高度教養科目の見直しや、DXを活用し、現在の神戸
スタンダードを発展させた神戸スタンダードVer.2へ

神戸スタンダード

神戸大学の学生が卒業までに身につける
べき共通の能力を育む授業を提供する

柔軟性を持ち協働して実践する能力

高度教養科目

専門性や価値観を異にする人々と協
働して学際的な課題を学ぶことが
できる授業科目

- 外国語セミナーA（英語）他

複眼的に思考する能力

基礎教養科目

専門分野以外の学問分野について
基本的なものの考え方を学ぶことが
できる授業科目

- 人文・人間科学系、社会科学系、
生命・医学系、自然科学系

外国語科目

情報科目

健康・スポーツ科学

共通専門基礎科目

資格免許のための科目
その他必要と認める科目

次世代を担う人材を 養成する学部横断型 教育プログラム

本学の卓越した学部横断
型の教育プログラムを共
通教育科目に加え、全
学部の学生に対して提供
する

データサイエンスプログラム

様々な分野の学生に数
理・データサイエンスの
基礎をレベルごとに身に
付けさせ、データ駆動型
社会を牽引するイノベー
ション創出型人材を育む

- 教養教育院提供科目
・データサイエンス基礎学 他

ESDプログラム

Education for Sustainable
Development

SDGs(持続可能な開発目
標)に取り組むために必要
となる、持続可能な社会
の創り手を育む

- 教養教育院提供科目
・ESD基礎 他

DX

教育の質を高めるためのICTを活用した授業方法を開発・実証・推進

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～文学部・人文学研究科～



文学部

育成する人材像

人類の文化的営みの蓄積としての人文学を、古典を通して深く理解するとともに、社会的対話によりそれを実践していくことのできる能力を身につけ、現代社会において活躍できる人材を育成する。徹底した少人数教育により、個々の学生の好奇心に応え、自ら問題を設定し、解決するスキルを学生に伝授することを旨とする。

教育課程

・ 初年次教育（1年生）

文学部の諸専修について理解を深める授業群・文学部での研究の基礎を学ぶ授業群を配置。

・ 15専修に所属（2年生以降）

各専修における徹底した少人数教育 国内1大学、海外75大学と単位互換協定 中学高校の教員免許（英語・国語・社会）、博物館学芸員資格の取得。

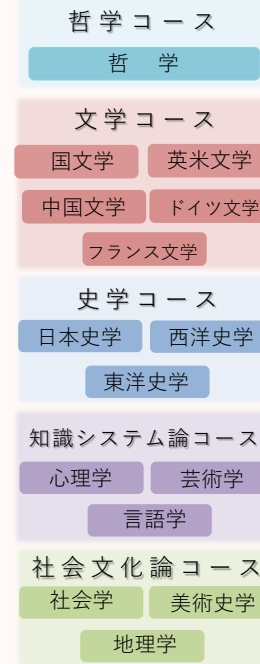
・ 4年間の研究の総括としての卒業論文

・ KOJSP（神戸オックスフォード日本学プログラム）

オックスフォード大学東洋学部日本学専攻の2年生全員が1年間文学部で学ぶユニット受け入れ型プログラム。本学部生はチューターとしてプログラムに協力。

初年次教育

15専修に所属



徹底した少人数教育

国内1大学、海外75大学と単位互換協定

卒業論文

人文学研究科

育成する人材像

人文学の高い専門性を追求すると同時に、総合性を高めることによって、人文学の古典的な役割を継承しながら、現代社会で活躍できる人材を養成する。

教育課程

・ 深い専門性と多面的な視野の育成

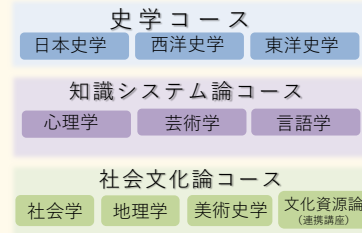
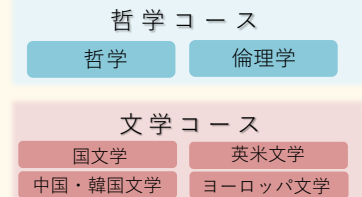
他専攻教員を含む3名の教員による指導教員チームによる指導。共通科目（必修）として、人文学推進インスティテュートを構成する海港都市研究センター、地域連携センター、倫理創成プロジェクト、日本語日本文化教育プログラム等、研究科内共同研究教育組織による、人文学の成果の社会的応用に関する授業群の設定。

・ 研究機会の拡大

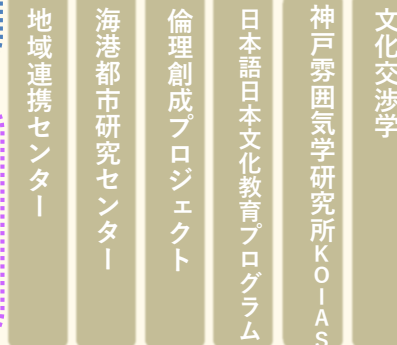
国内4大学、海外75大学と単位互換協定、北京外国語大学とダブルディグリープログラム、日本語日本文化教育海外インターンシップ等。

文化構造専攻

社会動態専攻



人文学推進インスティテュート



多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～国際人間科学部～



グローバルイシューへの挑戦

◎多文化間の境界をコミュニケーションの力で乗り越え、グローバル共生社会を実現
◎人間の多様な発達とそれを支える協働社会の実現、そして次世代の育成
◎身近から地球規模まで、人間と環境の調和に根ざす持続可能な共生社会の実現

深い人間理解と他者への共感をもって地球的規模の課題に向き合う



グローバル文化学科

国境を越えたコミュニケーションを推進できるリーダーシップを備えた人材の養成

- 地域文化系プログラム
- 異文化コミュニケーション系プログラム
- 現代文化系プログラム
- 言語情報コミュニケーション系プログラム

異文化理解

環境理解

環境共生学科

グローバル共生社会を支える環境を創り出す文理融合型の人材の養成

- 環境自然科学プログラム
- 環境数理科学プログラム
- 生活共生科学プログラム
- 社会共生科学プログラム



深い人間理解



発達コミュニティ学科

人間の発達とこれを支えるコミュニティの実現に取り組む人材の養成

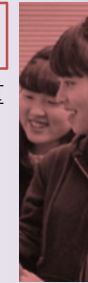
- 社会エンパワメントプログラム
- 心の探究プログラム
- アクティブライフプログラム
- ミュージックコミュニケーションプログラム
- アートコミュニケーションプログラム

人間発達理解

子ども教育学科

現代社会の文化的多様性を尊重した子ども教育に取り組む人材の養成

- 学校教育学コース
- 乳幼児教育学コース



卒業までに身につける能力

グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力

外国語やICTを使いこなす、多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析能力

グローバルイシューを異文化／環境／人間発達及び次世代育成の観点から理解する能力

グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力

幅広い知識と専門的能力

【必修】 国際的協働力を養うための海外研修・フィールド学修

Global Studies Program

GSP

全学生がグローバルイシューをフィールドで実感する実践的学科横断プログラム

実践型

GS コース 海外スタディツアーorインターンシップ

研修型

GS コース+国内フィールド学修 海外語学研修 or サマースクール

留学型

GS コース 中長期留学+現地フィールド学修

事後学修

グローバル体験の比較・共有から生まれるシナジー

多文化共生社会実現のための協働型グローバル人材へ

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～国際文化学専攻～



越境する知性を陶冶する教育

養成する人材像

深い異文化理解能力、自在なコミュニケーション能力と現代的諸課題に取り組むための応用研究力・実践力を備えたグローバル社会のフロントランナー

教育の理念

- ・異文化共存を見据えた文化研究の先端的領域を開発
- ・人類文化を把握するための新たなパラダイムを構築

教育の目標

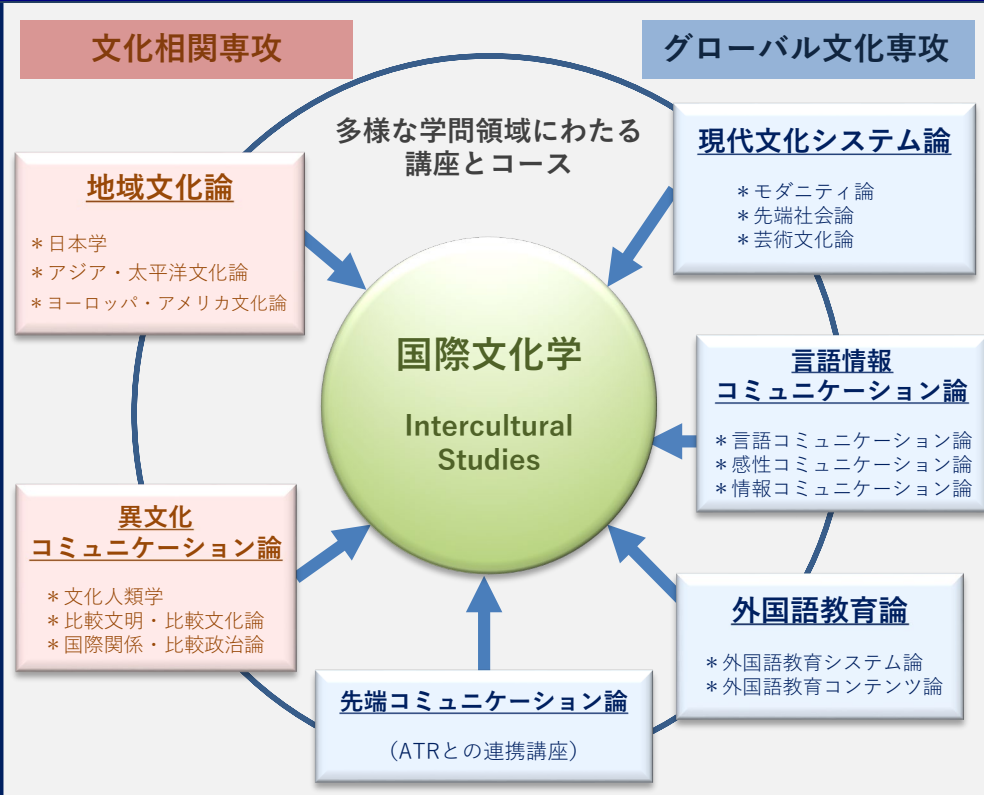
文化の多様性、異文化間の関係性やコミュニケーションの動態を理解し、グローバル化する現代社会の課題に多角的に取り組むことのできる能力を涵養すること

学際性を高める取り組み

- ・最新のICTを取り入れた、文理の枠を超える教育
- ・コースでの複数分野の教員による集団指導
- ・博士後期課程におけるコロキウム（講座全体で実施する分野横断的な研究会形式の公開審査）

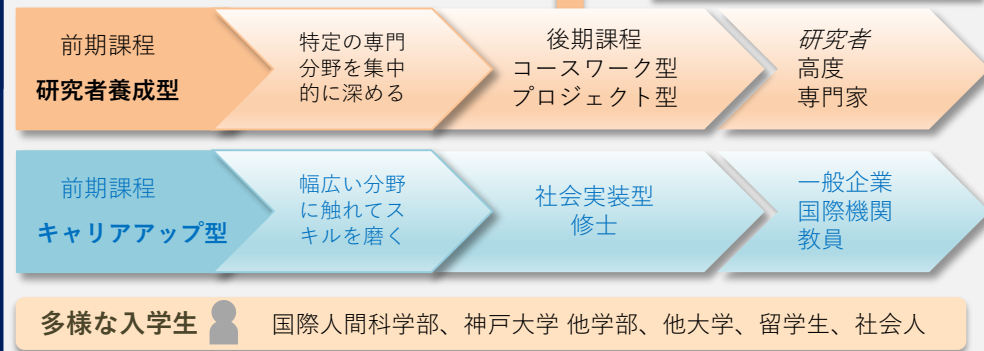
国際性を高める取り組み

- ・異文化研究留学プログラム（80校以上の協定校との交換留学）
- ・ダブル・ディグリー制度（5校6プログラム）
- ・多彩な短期海外研修、インターンシップ
- ・日本語教師養成サブコース



学生のニーズに合わせた柔軟な教育プログラム

国際文化学研究推進
インスティテュート
での共同研究



多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育



～人間発達環境学研究科～

幅広い視野を持って Well-being 社会を創造する実践型リーダーの育成

理論と実際を往還する課題解決型教育プログラム

> 学問領域複合型教育（卓越した専門性と異分野融合）

- **人間発達専攻：**
『人間の発達』に関して、「個人の創造的発達」と「個人の創造的発達を促す関係性」という視点から、総合的かつ高度な文理融合型専門教育を提供（心理系、教育系、表現系、行動系）
- **人間環境学専攻：**
『人間の発達を支える環境』に関して、「人間の発達を促進し、支援する環境要因の解明」という視点から、総合的かつ高度な文理融合型専門教育を提供（自然科学、数理情報科学、生活科学、社会科学）

ヒューマンコミュニティ創成研究、ESD研究、グローバルリサーチ演習
→ 専門科目群、特別研究Ⅰ～Ⅳ → 教育能力養成演習

> Action Research による実践型教育（多様な現場と柔軟な参加）

- **ESDサブコース：**
持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）の理論と実践について学ぶ教育プログラムを提供
- **臨床心理学コース：**公認心理師（心理職の国家資格）及び臨床心理士（心理臨床の高度専門職）資格認定試験の受験資格が取得可能
- **発達支援1年履修コース：**社会人を対象。発達支援に関する実践的教育（1年で修士号取得が可能）
- **専攻の枠を越えた学際的・実践的ジョイントプログラム（発達支援インスティテュート）：**

ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
・ ESDネットワーク支援プロジェクト
・ 共生支援プロジェクト

サイエンスショップ
・ 科学コミュニケーションの促進
・ 市民の環境保全活動等への支援

発達支援
インスティテュート

心理教育相談室
・ 臨床心理面接・プレイセラピー
・ 臨床心理学的地域貢献

教育連携推進室
・ 参画型実践教育を基盤とする
高度教員養成プログラム

アクティブエイジング研究センター
・ 鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト
・ アクティブエイジングを進める学際・
国際研究の推進

研究科の目標

人間発達環境学研究科では、複雑な諸課題を抱く現代社会において、人が潜在的に持つ能力をどのように開花させるのか、また、そのためにどのような環境が必要なのかについて、原理的、実践的及び国際的に教育・研究し、人の善き生（Well-being）の実現を目指して「知」の構築を行っている。

Well-being(より善い生) 社会の創造

その多様な担い手を育成

- 課題解決のために、多領域の人々と協働し、リーダーシップを発揮できる卓越した人材
- 幅広い視野、深い専門知識、さらに強い探求力を持つ高度専門職業人や研究者

進路：民間企業、NGO、NPO、公的・行政機関、研究教育機関等

領域：教育、子ども、高齢者、福祉、心理、スポーツ、芸術、健康、環境、まちづくり、製品開発等



国際性に富む柔軟な取り組み

学術Weeks

内外の領域横断的な学術交流活動を通して、研究会の企画・運営・発表などの技能習得の機会を大学院生に提供。
2022年度実績(2企画／参加者97名)



海外スタディーツアー

講義や演習の一環として、具体的テーマを掲げ、海外の学生、研究者、実践家等と調査研究や学術交流を進めるスタディーツアーを実施。



ハイブリッド型国際共同ゼミ

オンラインシステム、対面方式、さらにフィールドワークを組み合わせ、人間の発達と環境に関わる多様な主題について、内外の院生や留学生が討論を重ねる国際共同ゼミを開催。



国際
人間
科学部

発達
コミュ
ニティ
学科

子ども
教育
学科

環境
共生
学科

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育

～法学部・法学研究科・法科大学院～



◆社会課題の解決を先導する人材の育成

グローバル化の進展に伴ってますます増加する国内外の社会問題（個人や企業間における国内的・国際的紛争、国家間における紛争、競争・環境・知的財産の保護のあり方の問題など）を、法学的な専門知識・思考方法と政治学的な理論・実証分析手法を駆使して、実践的に解決することができる人材の育成を目指す。

学部

教員1名あたりの学生数が約3.5名という全国トップレベルの「教員と学生の距離の近さ」のなかで、きめ細やかな教育を展開する。

特色あるプログラム

大講義と並行した
少人数教育

1年生

初年次セミナー
法解釈基礎

2年生

法解釈基礎
社会分析基礎
外書講読

3・4年生

3・4年次演習
応用科目
外書講読

●法科大学院進学プログラム（法曹コース）

早期の司法試験合格に向け3年次卒業・法科大学院進学を目指す

●グローバルプログラム

大学院進学（KIMAP、DDP、ELS-Mの各プログラム）に向けて3年次卒業を可能とする学部教育

●法経連携専門教育プログラム（ELS）

法学と経済学の双方の視点を有する異分野 共創性を備えた人材を養成

法学・政治学

大学院

国内外の法学政治学研究を主導する教員を擁し、優れた実務家と研究者を養成。リサーチデザインや方法論の科目を重点的に提供し、体系的教育を行う。

特色あるプログラム

専門科目と並行した
研究・論文作成方法の
分析手法体系的修得

修士1年

方法論特殊講義
(法学/政治学リサーチ
デザイン)
方法論特殊講義Ⅰ・Ⅱ

修士2年

方法論特殊講義Ⅲ
論文作成指導

博士
研究指導

●KIMAP in Global Business Law

英語による講義と海外インターシップを通じて国際ビジネス分野で活躍する人材を養成

●高度専門法曹養成プログラム（TLP）

弁護士等の再教育により、競争法や知財法など専門性の高い法領域に精通した実務家を養成（博士号の取得）

●ダブルディグリー・プログラム（DDP）

英国・エセックス大学などへの学生派遣と受入により、グローバル人材の育成と交流を促進

●計量手法による国際研究プログラム

データ分析技法の修得と英語でのプレゼンテーション能力を訓練

法科大学院

各分野を主導する優れた教員による理論的・実践的教育により、高い司法試験合格率を達成（74%を超える累積合格率）。

特色あるプログラム

司法試験の合格を見据えた
実践的カリキュラム

未修者コース1年目

法律基本科目(憲法・民法・刑法など)の集中的修得

未修者コース2・3年目

既修者コース1・2年目
対話型演習による法律基本科目の深化+実務基礎科目(法律文書作成演習)との連携

司法試験合格

未修者コース3年目・既修者コース2年目における
在学中受験にも対応

●未修者スタートアップ・プログラム

未修者を対象に、授業進行と並行して、学習段階に応じた指導とサポートを提供

●ワークショップ企業内法務

企業法務の現役担当者による連続講義により、企業の法務部門で活躍することができる職業法曹を養成

●海外エクスターンシップ

東南アジア諸国の国際的的法律事務所の協力のもとで、海外エクスターンシップを実施

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育

～経済学部・経済学研究科～



経済学研究科が掲げる「Education Vision 2030」



多様性・国際性・卓越性を具備し、社会・経済の様々な変化に対処していける柔軟性を持った人材の育成

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～経営学部・経営学研究科～



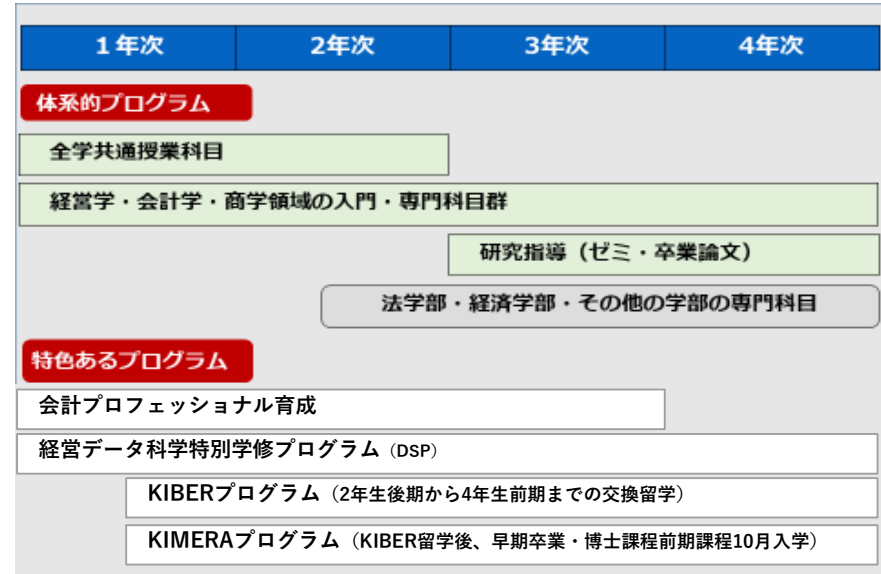
経営学部

育成する人物像

経営学・会計学・商学の領域において幅広い知識とそれを基盤とした専門的能力を身につけ、人間性、創造性、国際性に優れ、次世代の知識・産業社会において知的リーダーシップを発揮できる人材を育成する。

多様な専門教育プログラム

- ・会計プロフェッショナル育成プログラムによる高度専門職人材育成
- ・経営データ科学特別学修プログラム（DSP）による経営学の理論に基づき、データの意味を理解し、データを用いて理論を検証し、検証結果から実践的示唆を導き出せる人材を輩出
- ・KIBER（Kobe International Business Education and Research）プログラムによる留学を通じた国際社会に通用する人材の育成



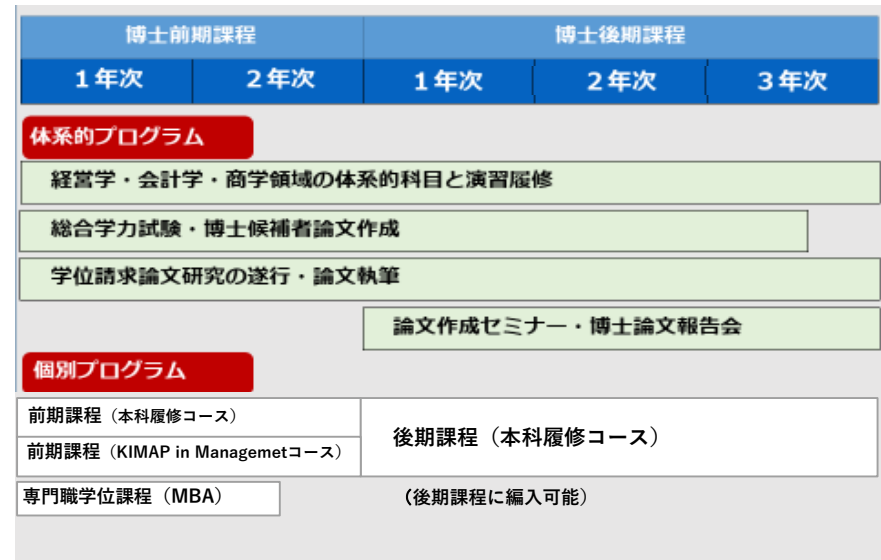
経営学研究科

育成する人物像

経営学・会計学・商学の領域において深い学識と高度で卓越した専門的能力を身につけ、人間性、創造性、国際性において優れた研究者および専門的職業人を育成する。

多層的な専門教育及びグローバルプログラム

- ・KIMAP（Kobe University Interdisciplinary Master Program） in Managementによる社会的課題解決に向けた政策・戦略企画、実行能力を備えた人材育成
- ・専門職学位課程（MBA）による高度専門職業人の養成
- ・多数の有力海外大学との提携による教育機会の拡大
- ・KIMERA（Kobe International Management Education and Research Accelerated）プログラムおよび経営データ科学特別学修プログラム（DSP）による学士・修士の一貫教育



多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育

～理学部・理学研究科～



理学研究科

理学部

卓越先端研究
国際的最先端卓越研究の臨場感のもとで教育がなされ、その精神は言葉を超えて学生に浸透していきます。

柔軟な発想力
確固たる論理的思考と柔軟な発想力をともに涵養することで有為な人材を送り出します。

多様な教育
自然科学を幅広く俯瞰する多様な学びを提供しています。他学科、他専攻、他学部、他研究科、他大学の授業科目も一定数履修できます。

国際性の涵養
学部から大学院にかけて、学年が進むごとに無理なく徐々に国際性が涵養されていきます。

世界最先端研究

高度専門・研究者教育

博士論文

修士論文

専門教育
先端・学際融合教育

- ・ プログラム教育コース：数理・情報、計算・数理、数理・構造、数理・経済、環境・化学
- ・ 次世代火山研究者育成プログラム

グローバル教育

- ・ Premium Program：海外研究者による講義
- ・ 科学英語
- ・ 学生海外派遣

少人数教育

専門教育

専門講義

実習・演習・卒論

理学積み上げ教育

専門基礎教育

基礎講義

基礎実習・演習

海外経験プログラム

グローバルチャレンジプログラム

フィリピン大学ロスバニョス校

南洋理工大學

数学

「分野の枠組を越える発想と広い活躍の場」

数と図形という古からの研究対象を可能な限りのあらゆる発想と手法を用いて探求。独創的研究者の育成と数理を駆する高度職業人の育成



物理学

「自然の真理を追求し豊かな応用につなげる」

素粒子、原子、分子、物質、宇宙と極めて広い範囲にわたる自然の構造と機能の根本原理を探求し、基礎科学の進展に寄与できる人材の育成



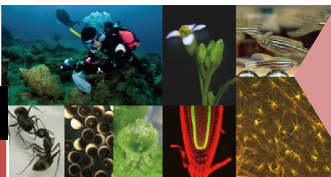
理学部 理学研究科

少人数教育学修を経て、世界最先端研究へ導く教育

惑星学

「この星はなぜ地球なのかを探究する」

地球中心から太陽系の果てまでで起こる現象を解析し、地球・惑星・太陽系の進化をまるごと理解する研究者の育成。惑星学を活かす高度職業人の育成



生物学

「複雑な生命システムの謎を解き明かす」

生命とは何かという基本的な認識を持ち、健全なバランス感覚をもって今後の生命科学と技術を見守りかつ発展させることのできる人材の育成



化学

「新しい物質、新しい化学現象や化学原理を追究する」

生命科学から物質科学まで広範囲の分野の人材育成とともに、社会的要請の高い問題発掘・解決能力を持つ高度な企業研究者の育成

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育

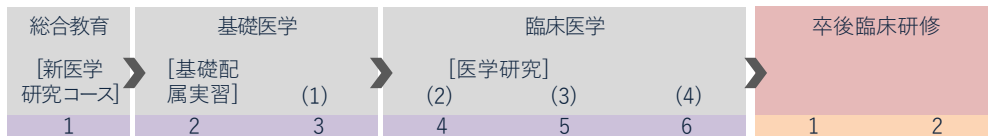


～医学部・医学研究科～

○ 医学科

広い知識を授けるとともに、医学・生命科学分野の教育研究を行い、高度な専門的知識・技術を身に付け、高い倫理観並びに旺盛な探究心と想像力を有する「科学者」としての視点を持つ医師及び医学・生命科学における先端的・学際的研究を推進する研究者を養成。学部入学段階から卒業・大学院までの一貫した取組により基礎医学研究者の養成を行う。

医学科標準
カリキュラム
(6年)



- ・基礎医学系講座に配属し、研究を体験する「基礎配属実習」を1961年から開始。
- ・世界的な著名医学研究者を輩出
ノーベル賞・学士院賞 山中伸弥博士
ラスカー賞・文化勲章 西塚泰美博士

基礎医学
研究医養成
プログラム
(6年+4年)



デジタルトランスフォーメーション (DX) を活用したデジタル化ブレンド型教育による課題設定・解決型人材育成の推進

○ 医学研究科

・バイオメディカルサイエンス専攻 (修士課程)

国際的に活躍する生命科学・医学研究者、バイオ・医学・医療等の関連産業において活躍する人材を養成。

・医科学専攻 (博士課程)

医学・生命科学領域における高度で先端的・学際的研究を推進するとともに、「医学・生命科学を担う優れた医学研究者」並びに「リサーチマインド及び高度な臨床技能を兼ね備えた臨床医 (高度職業人)」を養成。

・医療創成工学専攻 (博士課程前期・後期課程)

医療機器開発を主導することができる創造的開発人材を育成。

履修プログラム

シグナル伝達基礎臨床融合プログラム

シグナル伝達医学を中心とし、分野の枠を超えて基礎臨床融合による教育・研究を行うプログラム

臨床研究エキスパート育成プログラム

規制科学、生物統計、臨床研究に精通した医師等を含む臨床研究エキスパートを育成するプログラム

デジタル医工創成学プログラム (2020年度設置)

工学研究科、医学研究科、保健学研究科の連携によるプログラム

研究者育成プログラム、医学研究国際プログラム、連携大学院臨床研究医養成プログラム、がんプロフェッショナル養成プログラム、早期研究スタートプログラム

海外大学との共同プログラム

・学術交流協定 (国際連携創薬機構設立に向けたセンター間協定)

メディカルトランスフォーメーション研究センター ↔ ワシントン大学 (分子標的治療研究所)
オスロ大学 (分子医学研究センター)

・ダブルディグリープログラム

ガジャマダ大学医学・公衆衛生・看護学部 (インドネシア)
パジャジャラン大学医学部 (インドネシア)
マヒドン大学シリラー病院医学部 (タイ)

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育



～保健学科・保健学研究科～

保健学科

特色

☆高度な専門的知識・技能を身につけた地球規模で活躍する保健学専門職の育成

4つの専攻

- | | | |
|----------------|---|--------|
| 看護学専攻 (80名) | → | 看護師 |
| 検査技術科学専攻 (40名) | → | 臨床検査技師 |
| 理学療法学専攻 (20名) | → | 理学療法士 |
| 作業療法学専攻 (20名) | → | 作業療法士 |

国家資格

- ☆国立大学入試ランキング 2～4位
- ☆入試倍率2.3倍以上
- ☆国家試験合格率は例年ほぼ100%

カリキュラム

1年次 → 2年次 → 3年次 → 4年次

医学科・神戸薬科大学との多職種医療人協働教育 (IPW)

専門基礎教育(解剖学・実習、生理学、生化学他)

専門教育(座学)

学内演習・実習(基礎、臨床)

臨地実習(海外協定大学等での実習を含む)

卒業研究

双方向型教育の展開

国家試験

看護学専攻：看護の独自性・専門性を発揮し、エビデンスに基づく看護と地域・国際社会に貢献できる人材育成

理学療法学専攻：高度な実践力と科学的視点を兼ね備えた、病院、企業、行政への就職や教育研究職を目指す人材育成

検査技術科学専攻：「細胞検査士」「超音波検査士」「研究・開発職」など幅広い領域で活躍する多彩な人材育成

作業療法学専攻：世界作業療法士連盟認定校として世界基準の実践力を有する作業療法専門職の人材育成

保健学研究科

(前期課程) 高度医療専門職者の育成 (後期課程) 総合保健医療を創造・実践できる研究者の育成

保健学研究科保健学専攻

融合領域

パブリックヘルス

看護学

病態解析学

リハビリテーション科学

基幹3領域

特色・トピック

- 英語で修了できる **ICHS** コース設置、外国人講師による「Summer Education Program」開講
- 国立研究開発法人 情報通信機構との **連携講座** 設置 (2013)
- 保健師・助産師教育を博士前期課程へ移行 (2016)
- アジア健康科学フロンティアセンター** 設置 (2016)
- JICA草の根事業で **ハノイ医科大学と人材育成** を実施
- 環太平洋諸国との連携** による **次世代グローバルヘルスリーダー育成プログラム** の実施
- ガジャマダ大学・チュラロンコン大学と **ダブルディグリー協定締結**
- 認知症予防推進センター** 設置 (2019)
- デジタル医工創成学コース** 設置 (2021)
- 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所との **連携講座** 設置 (2023)

ASEAN諸国等の15大学と大学間・部局間協定締結

【アジア】ガジャマダ大学、チュラロンコン大学、チェンマイ大学、ハノイ医科大学、台北医学大学、香港大学など12大学

【欧州】FHヨアネウム応用科学大学など3大学

将来の展望

- ① **博士学生フェロースhip活用**による指導的人材育成
- ② **海外諸大学との学術協定活用、外国語科目数の増加**による **国際共同研究を推進**
- ③ **海外との相互学生派遣**による **学生間交流の推進**
- ④ **ハイブリッド型授業、リカレント教育プログラム**の充実

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育



～工学部・工学研究科～

養成する人材像

「価値判断ができる技術者・研究者」

工学部：十分な専門知識と幅広い見識を持ち、社会に貢献しうる価値判断ができる技術者・研究者

工学研究科(修士)：深い専門知識と学際的・複眼的視野、豊かな創造性と価値判断能力をもつ研究者・高度専門職業人

工学研究科(博士)：自ら問題を設定・探求・解決できる高度な課題探求能力、豊かな創造性と国際感覚、高い倫理観と価値判断能力をもち、社会の安寧を先導しうる研究者・高等教育研究機関教員・高度専門職業人



学科・専攻 ・専門分野

建築学

- ・空間デザイン
- ・建築計画学
- ・建築構造工学
- ・建築環境工学



市民工学

- ・人間安全工学
- ・環境共生工学



電気電子工学

- ・電子物理
- ・電子情報



機械工学

- ・熱流体
- ・材料物理
- ・システム設計
- ・先端機能創成学



応用化学

- ・物質化学
- ・化学工学



情報知能工学

- ・システム科学
- ・情報科学
- ・計算科学



工学部

工学基礎教育（初年次教育含む）

- ・工学専門基礎：工学基盤となる数学科目、データサイエンス基礎の充実
- ・教養教育：価値判断の礎となる技術者倫理・科学哲学、科学工学史に関する教養教育

専門教育：各分野の専門知識獲得と実践的応用の醸成、基礎的な工学英語習得に向けた専門英語科目の実施

工学部アクティブラーニング

- ・グローバルチャレンジプログラム
海外協定大学での実践学修
- ・ジョージア工科大学授業

理工系人材育成と数理・データサイエンス・AI教育

- ・理工系人材育成：高度教養教育、若手技術者・企業トップによる実践的講義、外国人講師によるSummer School等
- ・数理・データサイエンス・AI教育
- ・学際融合教育プログラム：医工連携・カーボンニュートラルなど他学部との協働教育の検討

工学研究科

専門教育：各専攻における高度専門知識の修得と学際的・複眼的視野を有する課題解決能力の醸成。学務と実務の融合を目指した専門教育。

多様性・学際性・卓越性を深めるグローバル教育

- ・ダブルディグリープログラム：
海外大学と協定を締結し、相互的な学生派遣。
- ・IMD(Industrial Master Doctor Program)：
連携企業（サポータークラブ）との協働による社会課題の解決を目指した実践的教育プログラム
- ・Premium Program：大学院生を海外の先端研究機関に派遣し、卓越的な国際共同研究を実施することを推進
- ・先端融合科学教育：工学部附属研究センターを中心にした多様な工学分野からの講義を展開。言語運用能力習得と異文化理解を目指して海外大学教員によるオンライン型英語講義の検討。
- ・学際融合教育プログラム：医工連携を始めたとする学際的な新領域開拓に向けた協働教育プログラムの検討

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育



～システム情報学研究科～

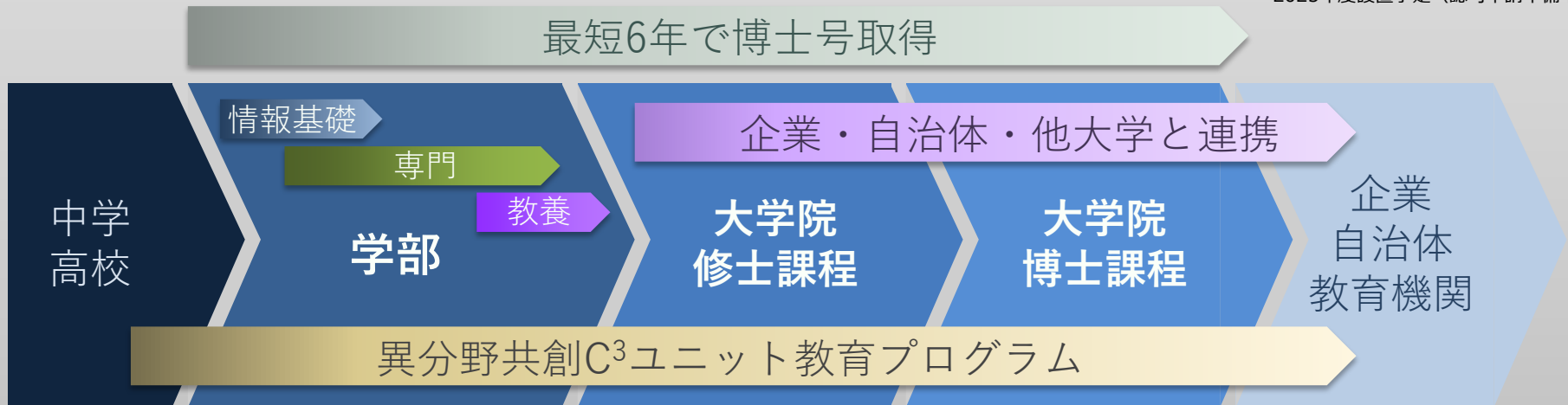
システム情報学

- AI・データサイエンス・スーパーコンピュータ・ロボティクスなどの理系専門知に横串を通し、人文・社会科学の価値観や問題意識に繋ぎ、**環境問題や社会問題の解決**に貢献する**総合知**の学問領域

システム情報学に特化した柔軟な教育体制

- 学部*・大学院が一体化したカレッジ、情報基礎教育プログラム、学部入学直後からの専門教育
- 専門的知識を十分に身に付けてから教養を学ぶ**反転教養教育**
- 博士課程・修士課程の大学院生と学部学生、社会人、他学部生、他大学生、高専生などが共に学ぶ、**異分野共創C³(Co-Creation & Collaboration)ユニット教育プログラム**
- 意欲的な学生を強力にバックアップ、早期に研究室配属、学部入学から**最短6年で博士学位を取得**
- **IT企業や自治体、近隣の大学や高専と連携**、地元産業へ貢献、スタートアップを育成、情報教員を輩出

*2025年度設置予定（認可申請準備中）



College of System Informatics

システム情報学カレッジ

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育



～農学部・農学研究科～

For Sustainable Agriculture and Human Health – From Farm to Table –

「農場から食卓まで」の理念に基づき食料・環境・健康生命を科学し、 世界にも地域にも新たな価値を創造できる人材の育成

【農学部】

農学を核とする広範な知識に基づき諸課題を探究し、持続共生社会を構築するための知識と技術を備えた人材を育成。深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を身につける。

→専門授業科目と学位論文の研究指導

・**世界で戦える英語力の強化**：国際性を養うためフィリピン大学ロスバニョス校(UPLB)、ネブラスカ大学(UNL)、ジョージア工科大学(GT)と協力し、学生の派遣と教師の招聘による生きた英語実習と教育を実施する。

・**戦略的な地域連携と実践教育プログラムの推進**：附属食資源教育研究センターによる卓越農学教育の拠点化丹波篠山フィールドステーションによる実践的農学プログラム農水省消費安全技術センター等の国立機関での実地教育兵庫県農林水産技術総合センターとの戦略的な地域連携

→卓越した技術・知識を有し地域に貢献できる人材を養成

【農学研究科】

農学を核とする専門的な広範かつ高度な知識に基づき、食料・環境・健康生命に代表される農学の知識と技術を備えた知的基盤を創成できる人材を育成。

多様な専門教育プログラム：深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を身につけ、専門授業科目と学位論文の研究指導

グローバルマスター/ドクターコースでは、専門性と国際性を身につける。教育・研究活動の**使用言語は英語**とする。

→未来の世界をリードする卓越的先端研究人材を醸成

柔軟な発想力に基づく独創性・創造性に秀でた人材育成

「幅広い農学知識」

食の倫理
緑の保全
UPLB農学英語コース

学士

「専門教育」

農学実験・農牧場実習
UPLB農学基礎英語
UNL農学英語研修

「前期課程」

「グローバルマスター」
UPLB中級英語プレゼン演習
GT-AEESコース

修士

「後期課程」

「グローバルドクター」
UPLB上級英語プレゼン演習
先端研究者の育成

博士

農学研究科・
農学部の魅力



生物、化学、物理、工学、経済、経営など幅広い学問を駆使し、食料生産と流通、環境・エネルギーから健康生命までの先端研究を行う

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～海洋政策科学部・海事科学研究科～



海洋政策科学部

海洋リテラシーを基礎として、**海洋**に関する多様で広範な専門領域の学びと実践的教育により、**未来の海の姿と理想的な利活用を意識して、海事・海洋に関する様々な課題の解決に寄与し、分野をリードできる優れた人材を育成する。**

教育の多様性

文系・理系重視型入試や「志」特別入試などの多様な学生募集、多様な学問領域の専門を横断的に学ぶ文理融合カリキュラムによる教育の推進

主・副専門による学びの柔軟性と学問の多様性

主専門と副専門の専門科目を柔軟に選択、海事海洋の多様な視点から未来の地球を考える力と専門性を養成

先端機器・知的資源の活用による卓越性

最新の探査機器を搭載し、災害対応機能を有する多機能練習船「海神丸」をはじめとする先端実験実習施設・機器、海事海洋情報の知的資源を活用した先端教育の実施



多機能練習船 海神丸

「神大海技士」の育成

海事海洋に関する広範な知識を基礎として海技士の専門性を学ぶと共に、最新機能を搭載した多機能練習船「海神丸」の活用による先端技術や国際性を身につけた神戸大学ならではの海技士を養成

海洋政策科学部・海洋政策科学科

海洋と地球を探る
海事海洋技術を創造する
海事海洋政策を立案する
グローバル経済を支える

- 海洋基礎科学領域
- 海洋応用科学領域
- 海洋ガバナンス領域
- 海技ライセンスコース
- 航海学領域
- 機関学領域

進学

大学院進学

神戸大学乗船実習科

3級海技士資格取得のための専門課程

修了

海事科学研究科

専門領域の知識に基づき、**海事・海洋分野の専門性をさらに深化・先鋭化させ、地球規模の海事・海洋に関連する諸課題の解決や未来を見据えた持続的な海洋の利活用と海洋環境保全に貢献でき、新たな価値を創造できる優れた人材を輩出する。**

産官学協働型教育【関西海事教育アライアンス】

阪大及び大阪公立大の大学院と共に海事産業界及び関係省庁有識者との連携で海洋開発・船用技術・海上物流・マネジメントを網羅する先端海事教育を実施

国際性と柔軟性に富む教育【グローバル海洋理工学プログラム】

英語による講義、探査機能搭載練習船「海神丸」での洋上探査演習、国際海事社会の最新動向に基づく高度で実践的な海事海洋教育の提供

学びの国際性

国際(海外)インターンシップ、海外交流協定校との交換留学、コチュテル(共同学位指導)、海外オンライン授業等の導入による国際性の強化

協力講座・連携講座の設置

学内外の研究者らと連携し、海事・海洋に関する先端研究の実施

海事科学専攻(前期・後期)

- 海洋基礎科学コース
- 海洋応用科学コース
- 海洋ガバナンスコース
- 航海学コース

修了

大学院進学

海事・海洋分野へ寄与し、新たな価値を創造できる人材の輩出！

神大海技士の輩出

先端技術への対応や環境保全に貢献できる次世代の高度海技士を輩出！

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～国際協力研究科～



専門性・学際性を備えたグローバル人材を育成

学際的な教育プログラム

- ☑ 世界水準の研究をベースに幅広い学際的な教育プログラムを提供
- ☑ 経済学，法学，政治学，国際関係論，教育開発論，保健医療論（感染症等），防災論・・・



英語で学べる研究科

- ☑ 日本語講義と英語講義の比率は、ほぼ1:1
- ☑ 国際学修士は英語講義科目の履修が必修
- ☑ 専任教員・ネイティブスピーカーによる英語論文執筆指導
- ☑ 有名大学等から客員教授を招聘しての講義
- ☑ 海外実習・インターンシップ(原則海外) 国際機関(世銀，国連機関等)との連携



留学生から学べる研究科

- ☑ 留学生と日本人学生の比率は、ほぼ1:1
- ☑ 世界30カ国・地域から厳しい選抜試験を経て集まった高いモチベーションを持つ留学生と共学・交流を通して国際感覚を醸成



研究・進路の幅を広げる 様々なプロジェクト

キャンパスアジア・プラス プログラム

リスク・マネジメント分野の事業を展開する国際機関、政府機関、官公庁、グローバル企業、保健医療機関、国際・国内NGO等で活躍する人材育成

専門講義・キャリアセミナー等を通して国際公務員への道を強力にサポート

国際公務員養成 プログラム

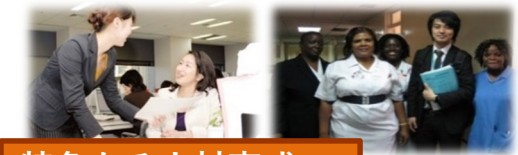
PCRC
(極域協力研究センター)



研究面での特徴

- ☑ 現場感覚のある研究
- ☑ 文理横断・異分野共創の研究
例: 災害研究・・・など
- ☑ 発展途上国とのネットワークを生かした研究(データ・現地調査・修了生)

経済学・法学・政治学・学術(国際学)の4つの中から学位が取得可能



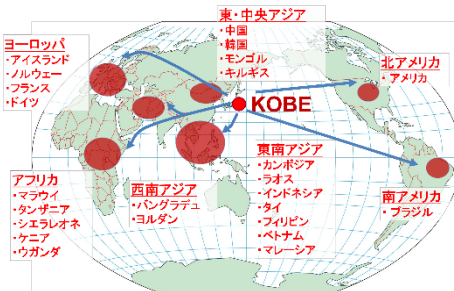
特色ある人材育成

「社会科学」と「国際性」を武器に各界へ

- ☑ 国際機関・政府系機関への就職
- ☑ 各国の幹部公務員(※ 留学生の場合)
- ☑ 理論と実践を両立できる研究者育成

注 目 海外実習・インターンシップ

学生の海外実習、インターンシップを授業科目の一つとして単位認定するなどして、奨励・支援しています



注 目 キャンパスアジア

復旦大学(中国)・高麗大学校(韓国)・チュラロンコン大学(タイ)・ラオス国立大学(ラオス)と共同でグローバル社会の多様なリスクに対応できる「リスクマネジメント専門家」の育成を目指し、ダブルディグリー・プログラムや交換留学プログラム、フィールドワークなどの多様なプログラムを展開しています

異分野共創による
リスクマネジメント専門家
養成プログラム

参 考 国際協力研究科 DATA

- ・留学生比率* : **50.7%**
- ・留学生の出身国・地域: 中国, バングラデシュ, ベトナム, カンボジア, 韓国, フィリピンなど, 計32
- ・海外実習等派遣先** : ラオス, アメリカ, ベトナム, カンボジア, タイ, インドネシアなど, 計24

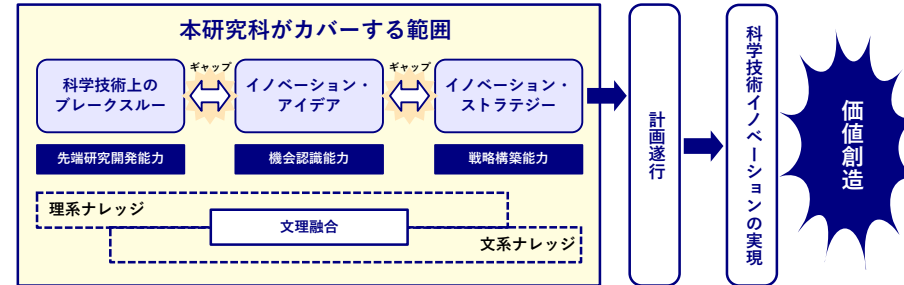
(*2023年4月3日 **2017~2022年度実績)

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～科学技術イノベーション研究科～



研究科の理念

- 先端科学技術分野における **研究開発能力**
- 学術的研究成果（科学技術上のブレイクスルー）を経済的・社会的な価値創造につながる新しい製品やサービスのコンセプト（イノベーション・アイデア）へとデザインする能力（**機会認識能力**）
- そのコンセプトを実現するための事業や財務などの具体的な戦略（イノベーション・ストラテジー）を構築する能力（**戦略構築能力**）
までの教育を一貫して推進



神戸大学を科学技術イノベーションを担う人材育成のメッカとする

- より多くの理科系大学院生に社会課題解決を目指し、**パスツール型研究（目的基礎研究）を推進できる力をつける教育**、及び**アントレプレナーシップ分野の教育**を提供する
- 文科系学生の中からも、科学技術イノベーションの価値を理解し、**社会課題解決に挑む人材を育成**する
- メンターとして後進を導く、**ロールモデルとなる成功者を輩出**する

アドバイザリーボードの活用

- 各分野の高度な専門知識（**当研究科がフォーカスする技術・産業分野における知財戦略、事業戦略、財務戦略等についての実践的な知識**）と実務経験（**起業や新規事業開発、ベンチャー企業の投資育成、ビジネスコンサルティング等の経験**）を持つ学外の専門家から構成されるアドバイザリーボードを設置。博士後期課程学生への確かなアドバイスを提供

（テーマ例）

神戸大学発ベンチャー企業 バイオレット社による
「ゲノム編集×マイクロバイーム」の事業化
超一流のサイエンスを一流の人材と資金で事業化するには



グループワークによるビジネスプラン立案と個別研究の事業計画発表



独自の異分野融合教育

科学技術アントレプレナーシッププロジェクト研究 (PBL)

各自の研究テーマを題材に、先端テクノロジーベンチャー企業として事業化するまでの必要知識とプロセスをPBL学習形式で修得

異分野の学生と協力・共創
コミュニケーション能力向上

産業技術実習

現場生産プロセスに準ずる
設備・装置を用い、**先端技術のエッセンスを体験**

異分野の実習も体験
学生が視野を広げ、
学際的な視点を身につける



（実習例）

バイオプロダクション分野
バイオ医薬品の代表である抗体医薬の細胞培養工程をモデルとした実習



先端膜工学分野
多孔膜作製のパイロットプラントを活用した中空糸膜の製膜及び測定の実習



先端IT分野
通信デバイス・装置のプロトタイプ作成及びビジネスプラン提案



先端医療工学分野
社会を支える先端医療技術に関してグループワークによる情報収集と口頭発表

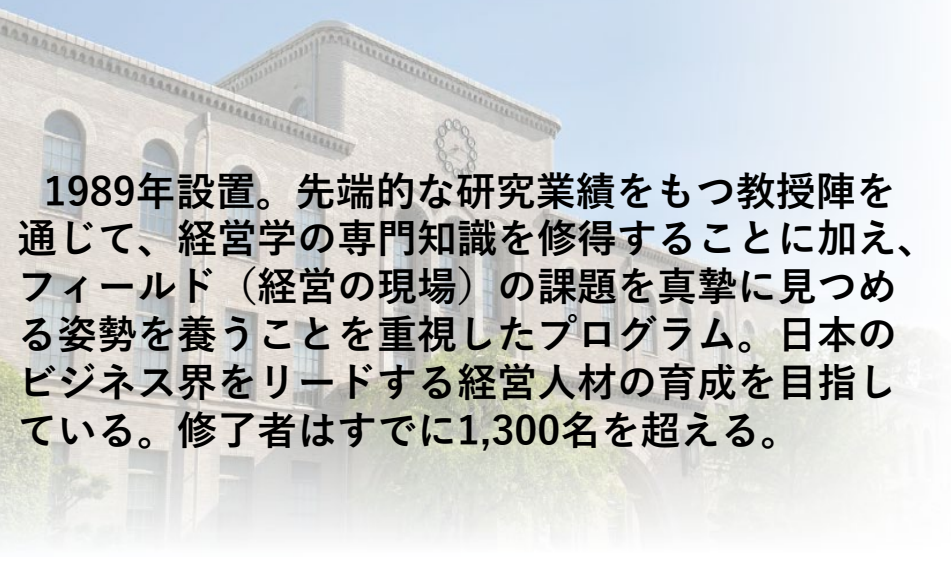


多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～専門職学位課程～

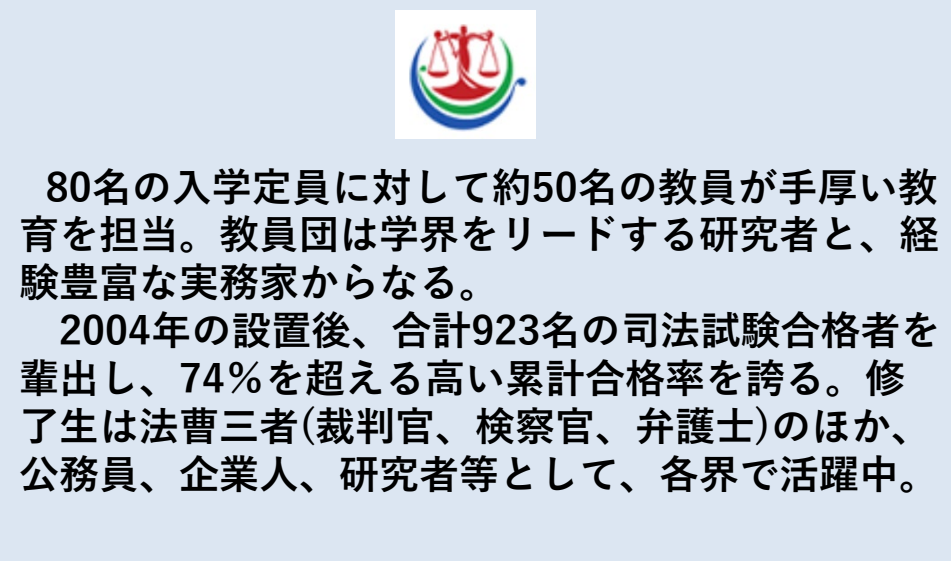


専門職大学院（MBAプログラム） 経営学研究科

専門職大学院（法科大学院） 法学研究科



1989年設置。先端的な研究業績をもつ教授陣を通じて、経営学の専門知識を修得することに加え、フィールド（経営の現場）の課題を真摯に見つめる姿勢を養うことを重視したプログラム。日本のビジネス界をリードする経営人材の育成を目指している。修了者はすでに1,300名を超える。



80名の入学定員に対して約50名の教員が手厚い教育を担当。教員団は学界をリードする研究者と、経験豊富な実務家からなる。

2004年の設置後、合計923名の司法試験合格者を輩出し、74%を超える高い累計合格率を誇る。修了生は法曹三者（裁判官、検察官、弁護士）のほか、公務員、企業人、研究者等として、各界で活躍中。

特徴

養成目標

1. プロジェクト方式

社会人が働きながら学びやすい環境を整備

2. 働きながら学ぶ

1) 土曜のみの履修で修了可能なカリキュラムの編成

3. 研究に基礎をおく教育 (Research-based Education)

2) 金曜夜間のオンライン授業の開講

- ① 変動するこれからの日本社会に求められる、基本的な法的知識と豊かな応用能力を持つ職業法曹
- ② ビジネスローと呼ばれる広義の企業活動に関わる先端的法分野について、深い理解と国際的視野を有する弁護士
- ③ 学界の将来を担う実定法研究者

特徴

- 1) グローバル・ビジネスローの先進教育
- 2) 法学未修者に対する充実したスタートアップ教育
- 3) 7大学の学部（法曹コース）との連携協定と早期入学制度

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育 ～附属学校部～



育てる
幼児児童
生徒像

神戸大学の理念である「真摯・自由・協同」の精神に基づき、総合大学の知とリソースを生かし、社会を創造する知性を持ち、国際感覚にあふれた、個性輝く豊かな人間の育成を目指す

幼稚園

小学校

中等教育学校

特別支援学校

多様性

各々の知見を生かした多様な校種間での連携した一貫性のある教育

- ・自発的な活動としての遊びの充実
- ・園生活を通じて友達や他校種の児童・生徒と共に遊びや生活を創り出すことを重視

- ・遠足活動など全学年縦割り班別活動
- ・児童主体で行う各種行事

- ・多様性に富む児童・生徒間及び地域や他部局構成員との相互学習



- ・学年縦割りで行う探究活動
- ・生徒主体で行う各種行事

国際性

生徒の発達段階に対応した国際交流や海外研修プログラムの実施(グローバルキャリア人の育成)

- ・国内外の教育研修の受入れ及び実践している教育・研究の発信



- ・教育課程特例校として1年から行う充実した英語学習(カリキュラム「せかい」)の実施
- ・国際人間科学部と連携した海外研修(附属小学校GCP)や、海外の学校との相互訪問など児童間の交流を実施

- ・ESD、探究英語を学校設定科目とし、国際的課題に英語での発信力を育成
- ・大学・中等教育学校・小学校の英語カリキュラムの開発
- ・課題研究を題材に、海外の提携校と相互交流を実施

- ・国内外の特別支援学校からの視察の受入れ及び実践している教育・研究の発信

卓越性

大学と連携した高度な教育プログラムの開発・実施

- ・ICT環境や先端技術を活用し、高度な教育プログラムの開発
- ・産学連携による先駆的幼児教育の社会への還元

- ・児童発達等の先端研究を生かした、高度な教育プログラムの開発

- ・データサイエンス、課題研究等高度な教育プログラムの開発

- ・ライフサイクルを見通した12年間の一貫した高度な教育プログラムの開発
- ・多様な障害を持つ子どもの相互理解を発展させたインクルーシブ教育の推進

- ・文部科学省の委託研究などに取り組むことで、国の政策への貢献とそこから得た先進的な教育の児童・生徒への還元
- ・地域への教育研究への協力・貢献



柔軟性

個々の関心を重視した、自律的・協働的な学びの実現

- ・子どもの事実を根拠とした「資質・能力カリキュラム」により、一人一人の発達や興味・関心に応じて資質・能力の発揮、伸長を支える指導

- ・先駆的な教科担任制・学年担任制を採用することにより「豊かな成長・深い学び」の追求

- ・生徒個々にテーマを設定し、継続的に取り組む課題研究
- ・4学年協同ゼミで切磋琢磨し、課題研究に取り組み、大学での博士人材育成につながる探究力を育成

- ・個々の興味・関心に基づいた自己選択・自己決定の力を育むコミュニケーション教育

神戸大学の知

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育

～大学内・大学間連携型プログラム～



目的・意義

文理横断的・異分野共創的な知を備えた多様な人材を育成するために、産官学連携に加え、異分野共創教育の場を整備し、学部・研究科・大学の枠を超えた教育プログラムを構築する。

大学間連携プログラム（抜粋）

■開発系大学院単位相互認定プログラム

（国際協力研究科）大阪大学・名古屋大学・広島大学
我が国の国際開発/国際協力系4大学院が、お互いの特徴を活かした魅力的な履修科目を提供し単位相互認定するプログラム

■関西海事教育アライアンス

（海事科学研究科）大阪大学・大阪公立大学
海事クラスターを形成している関西地区において、3大学が、海事教育に関するアライアンス（同盟、提携）を組み、国際的な海事分野の教育・研究の一大拠点を目指すべく、連携授業を開講し、相互履修を行うプログラム

■次世代火山研究者育成プログラム

（理学研究科）東北大学・北海道大学・山形大学・東京大学・東京工業大学・名古屋大学・京都大学・九州大学・鹿児島大学
コンソーシアム参加機関・協力機関の大学で開講されている地球物理学、地質・岩石学、地球化学、防災学、自然災害科学に関連する授業科目を相互履修し、実習を行い次世代の火山研究者を育成するプログラム

■異分野共創によるリスクマネジメント専門家養成共同教育プログラム（CAプラス）

（国際協力研究科他）復旦大学・高麗大学・チュラロンコン大学・ラオス国立大学
日中韓の共同教育コンソーシアムをASEANに拡大し、グローバルに活躍するリスク・マネジメント専門家を養成することを目的とするプログラム

大学内連携プログラム（抜粋）

■ESD（持続可能な開発のための教育）コース

全学部
各学部がアクション・リサーチ等を共通の手法としながら学内外の組織と連携して、持続可能な社会づくりに資する人材を養成するコース

■数理・経済プログラム教育コース

理学研究科・経済学研究科
両研究科の連携により文理融合教育を推進するプログラム

■エコノ・リーガル・スタディーズ

法学研究科・経済学研究科
両研究科の教員によるインテンシブな指導体制の下に、法学と経済学の複眼的な研究能力を備えた人材の養成を目的としたプログラム

■環境・化学プログラム教育コース

理学研究科・人間発達環境学研究科
両研究科の連携により持続可能な社会の実現に向けた教育プログラム

■数理・データサイエンス・AI教育プログラム

全学部
数学や統計学を基礎とし、情報科学（プログラミング）によりコンピュータを活用して、様々な分野の専門知識と融合しながら、新しい知見や価値を生み出していく技術・手法を学ぶプログラム

■異分野共創型卓越人材育成プログラム（KIMAP）

法学研究科・経済学研究科・経営学研究科
社会的課題解決に向けた政策・戦略企画、実行能力を備えた人材育成を目的とし、それぞれの専門的知識をグローバルに展開できる卓越人材を育成するプログラム

2027年度
プログラム数
25～倍増

異分野融合による創造的開発人材の育成



～ 医療機器開発の実践教育 ～

教育の特色

□ 創造性教育

- ◆ 異分野連携のチームでのグループワークによる開発実践演習
- ◆ 各々の専門性を活かしたグループディスカッション

□ 開発実践教育・研究

- ◆ 講義科目（座学）と連携したハンズオン演習 & 最新機器の活用
- ◆ ニーズ起点 & 技術主導両立型による医療機器開発の実践

生命・医学系 × 理工学系



産・官と連携した異分野共創型教育の推進



目的・意義

文理横断的・異分野共創的な知を備えた多様な人材を育成するために、産業界等と連携し、学問領域の枠を超えた多様な学びの機会を提供する。

■ 地域歴史遺産活用研究

(人文学研究科)

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・あまがさきアーカイブズ・芦屋市谷崎潤一郎記念館・株式会社地域環境計画研究所

■ ELS-D課題研究（脱炭素社会の地域づくり）

(法学研究科)

(公財) 地球環境戦略研究機関 (IGES) 関西研究センター

■ 産学連携特論

(医学研究科)

第一三共株式会社・FORESIGHT & LINX株式会社、株式会社ナード研究所、JCRファーマ株式会社、株式会社ナティアス、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

■ 国際実践フィードバックワーク II

(保健学研究科) WHO神戸センター

■ 国際法外交実務論

(国際協力研究科)

外務省

■ 科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究

(科学技術イノベーション研究科)

アドバイザーボード・メンバー（ベンチャー企業経営者、ベンチャーキャピタリスト、弁護士、公認会計士など）によるオフィスアワーを開催

■ 社会基礎学（連続リレー講座）

全学共通授業科目（全学部生対象）

神戸大学と（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）との連携協定に基づき、産業界・官界のトップリーダーがオムニバス形式で2014年10月から全学学部生を対象とした講義を実施



ICT技術を積極活用した先進的教育の取組 ～大学教育推進機構～



教育DX推進活動の基本方針

時間、空間、分野、世代などの様々な制約を超越した創造的な学びを実現するため、教育環境・教育支援、学修効果増進・学修管理を対象に、以下のような方針のもとでDX推進活動を展開する。

- インタラクティブな学び：デジタル活用による教室での学びに留まらない新たな学修形態の創成や、知識獲得型授業の効果的・効率的な実施に伴うゆとりの創出によって、学生と教員、学生と学生とのインタラクティブな学びの場を拡充する。
- ボーダレスな学び：国・地域や分野、世代の障壁・制約を取り除き、他分野の学生や教員、学外の学生や社会人、海外や国内に居住する研究者など、多様な人々が参加でき、共修できるボーダレスな学びの機会を提供する。
- シンプルな仕組み：学びの仕組みや基盤をシンプルなものとし、学生や教員にとってわかりやすく親しみやすいものとする事によって、学修や教育そのものに集中できる環境を構築する。



ICT教育環境の整備・拡充

- 学修管理システム (LMS BEEF+), GoogleWorkspace, MicroSoft365 導入
- Webベースプログラミング学習環境構築
- 学部入学者のノートパソコン必携化
- 全キャンパスの教室に Wi-Fi 環境を拡充
- 自習用アクセスポイント整備
- ハイブリッド授業用教室整備



教育学修データ統合管理システム

- 学修ビッグデータの効果的・効率的な一元管理



学内業務システム、データベース



- KDWH を活用した学修ビッグデータ分析



学修者本位の質の高い教育の実現 & 課題設定・課題解決型人材の育成

質の高いハイブリッド授業を実施する環境を実現

学修ビッグデータの効果的・効率的な一元管理を実現

学修ビッグデータの分析 → 分析結果を学生・教員にフィードバック

ICT 活用授業

- 教室での学びに留まらない新たな学修形態の創成
- デジタル技術の積極的活用によるゆとりの創出

教学 IR の充実・活用

- エビデンスに基づいた教育改善・学修改善
- 集積する学生情報の拡張 (課外活動・学生生活情報の収集など)

学修状況の可視化

- 学生：集積・分析された学修データをもとに自己分析
- 教職員：個別最適化された学修指導・授業改善

新たな学修形態によるインタラクティブな学びの場の拡充、ボーダレスな学びの機会の提供



効果的な学修管理のもとで、学修や教育そのものに集中できる環境を構築



多様性を尊重するインクルーシブ教育

神戸大学
ダイバーシティ
推進宣言

「ダイバーシティ(多様性)を推進し、ジェンダー、性的指向・性自認、エスニシティ、文化、宗教、言語、出自、年齢、学歴、心身の特徴などの属性や特性にかかわらず人間として尊重し、それぞれの個性や能力を発揮できる学習・教育・研究・就労環境を整備します」

神戸
スタンダード

「多様性と地球的課題を理解する能力」

学生・教職員他、大学を利用する
すべての人々が
アクセシブルなキャンパスを実現

情報アクセス

- ・授業/試験等における情報保障
- ・大学HP/学内マップの多言語及び障害対応

環境アクセス

- ・建物（校舎/図書館/トイレ/食堂等）/キャンパス（通路等）の整備
- ・ユニバーサルトイレの設置
- ・学内施設表示のユニバーサル化

安全

- ・学内相談先/避難マニュアルなどの案内の多言語及び障害対応
- ・休養や静養を目的とした多目的スペースの確保
- ・多機能トイレの整備

多様性を通じて 創造する「知」の提供

アクセシビリティやジェンダーを
題材とした授業、ワークショップ等

多様な文化、思想、価値観を
受容するとともに、
地球的課題を理解する能力を
身につける

学生

(障害学生・留学生・LGBTQI+を包括)

卒業生

神戸大学

教職員

インクルーシブを
題材とした共同研究・
連携事業の実施

地域

企業

数理・データサイエンス・AI 教育



数理・データサイエンスセンター

Center for Mathematical and Data Sciences

- データに関わる課題解決や価値創造のためのグローバルデータイノベーション拠点
- データイノベーション教育プログラムと人材育成
- Society 5.0を支えるデータサイエンス・AI研究

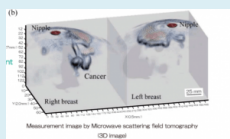
データ駆動型AI解析でSociety 5.0の実現と人材育成に貢献

高度AIデータ解析による課題解決

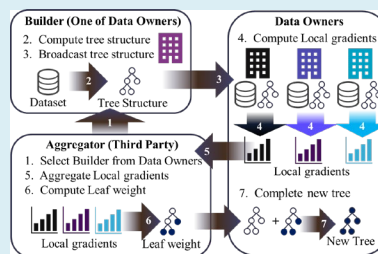
- データサイエンス・AIを活用した最先端研究の高度化支援
- 営業秘密や医療情報など機微な実データを安全に分析し、企業や自治体、医療などの実課題に対し、ソリューションを提供
- 大学の教育・研究データ、知財情報などを活用した教育/研究/連携部門のDX化支援



ヴァーチャルエージェントとIoTを活用した「暮らし」と「こころ」の見守り
(中村匡秀 教授)



世界初で波動散乱逆問題を解析的に解くことに成功。マイクロ波散乱場断層イメージングによる乳がん検診システムの実現
(木村次太郎 教授)



銀行不正資金検知に使われる組織間連合学習AI
(小澤誠一 教授、PCT国際出願中)

【連携先】

- 神戸市、三田市
- 神戸未来医療構想
- 神戸大学病院/ICCRC
- 理研 革新知能統合研究センター
- 情報通信研究機構(NICT)
- 日本総合研究所
- ノーリツ
- 高砂熱学工業
- シンガポール南洋理工大学 など

全学共通教育 (学部)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

- リテラシーレベル教育 (MDASH認定)
- 応用基礎レベル教育

大学間連携 (学部)

- 大学コンソーシアムひょうご神戸

全学大学院教育 (修士・博士)

- 神戸大学「異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト」
- データ関連人材育成プログラム
- 独り立ちデータアナリスト人材育成プログラム

海外連携 (大学院)

- シンガポール南洋理工大学との大学間学術交流

データサイエンス・AI課題解決型実践教育

神戸データサイエンス操練所

データサイエンス・人工知能 (AI) に関して志が高くもつ本学学生であれば、学年や学問分野は不問

- 実課題に紐づく機微データ解析 (共同研究など) [ISO/IEC 27001認証取得]
- CMDS論文セミナー (年50回程度、最新論文紹介)
- DS操練所予備門セミナー
深層学習、自然言語処理入門、プライバシー保護技術、サイバーセキュリティなど
- データサイエンスPBL科目設計
- 研究DX, 医学DX, 教育DX
- 自習用動画アーカイブ



高大連携教育

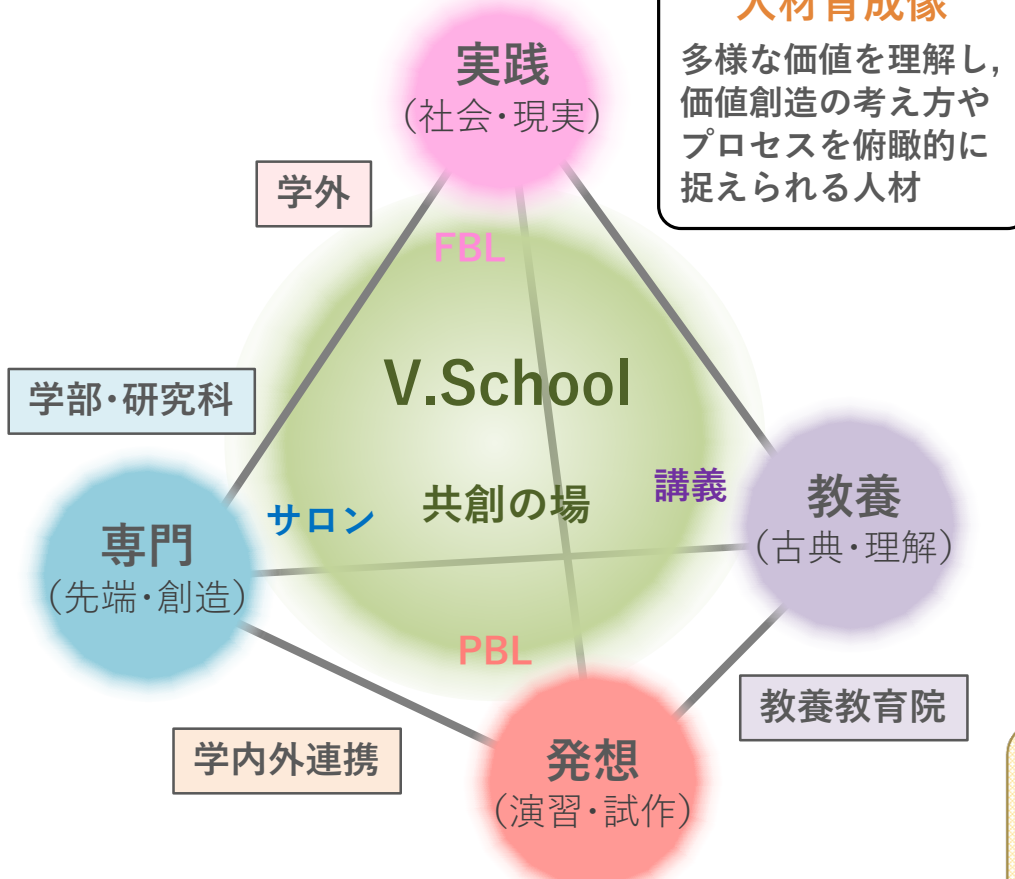
- リテラシーレベル教育 (統計授業、Python入門)
- 中高生データサイエンスコンテスト
応募数 第1回 (2021年) 82チーム
第2回 (2022年) 69チーム

社会人リカレント教育 (R5年度: 3プログラム)

- DX基礎プログラム (eラーニング) 【定員】なし
- データサイエンス・AI基礎 (15時間)
- Python基礎演習 (15時間)
- DXリーダー育成プログラム 【定員】30名
- DX課題解決型PBL (30時間)
- DXエキスパート育成プログラム 【定員】30名
- データサイエンス・AI実践ハンズオン (30時間)
- テーマ別課題解決型PBL (30時間)

価値創造教育のフレームワーク V.School をコアとして

V.School をコアとした 価値創造の四面体

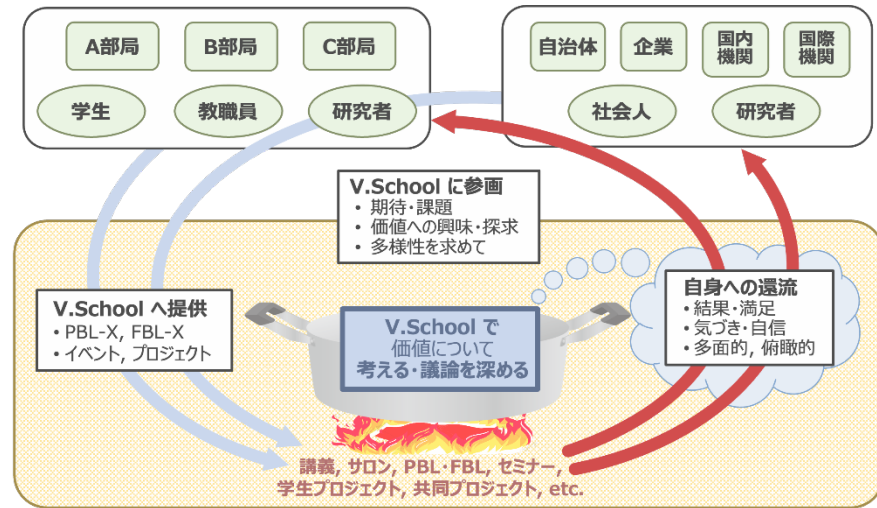


神戸大学の目指す価値創造教育

- ◆ 学生・研究者・社会人の共創
- ◆ 教養としてのアントレプレナーシップの確立
- ◆ 標準カリキュラムコースの構築
- ◆ 起業教育・活動への接続
- ◆ 大学の役割の再考

キーワード

- 主観と客観
- シンセシスとアナリシス
- デザイン思考・アート思考・システム思考
- インベンションとイノベーション
- 倫理学・哲学・美学



価値創造の考え方

- ▷ 価値創造の理念を知る (教養)
- ▷ 価値創造の技法を身につける (専門)
- ▷ 価値創造のプロセスを経験する (発想)
- ▷ 価値を生み出す (実践)

V.School (バリュースクール)

多様な人が集まり、議論し、価値について考えを深める「鍋」

アントレプレナーシップ教育

社会をリードできる誠実さ（倫理観）をもった人材
社会の変革者、非営利組織のリーダー

新たな学問を切り拓く研究者・技術者

企業の創業者、企業内企業家

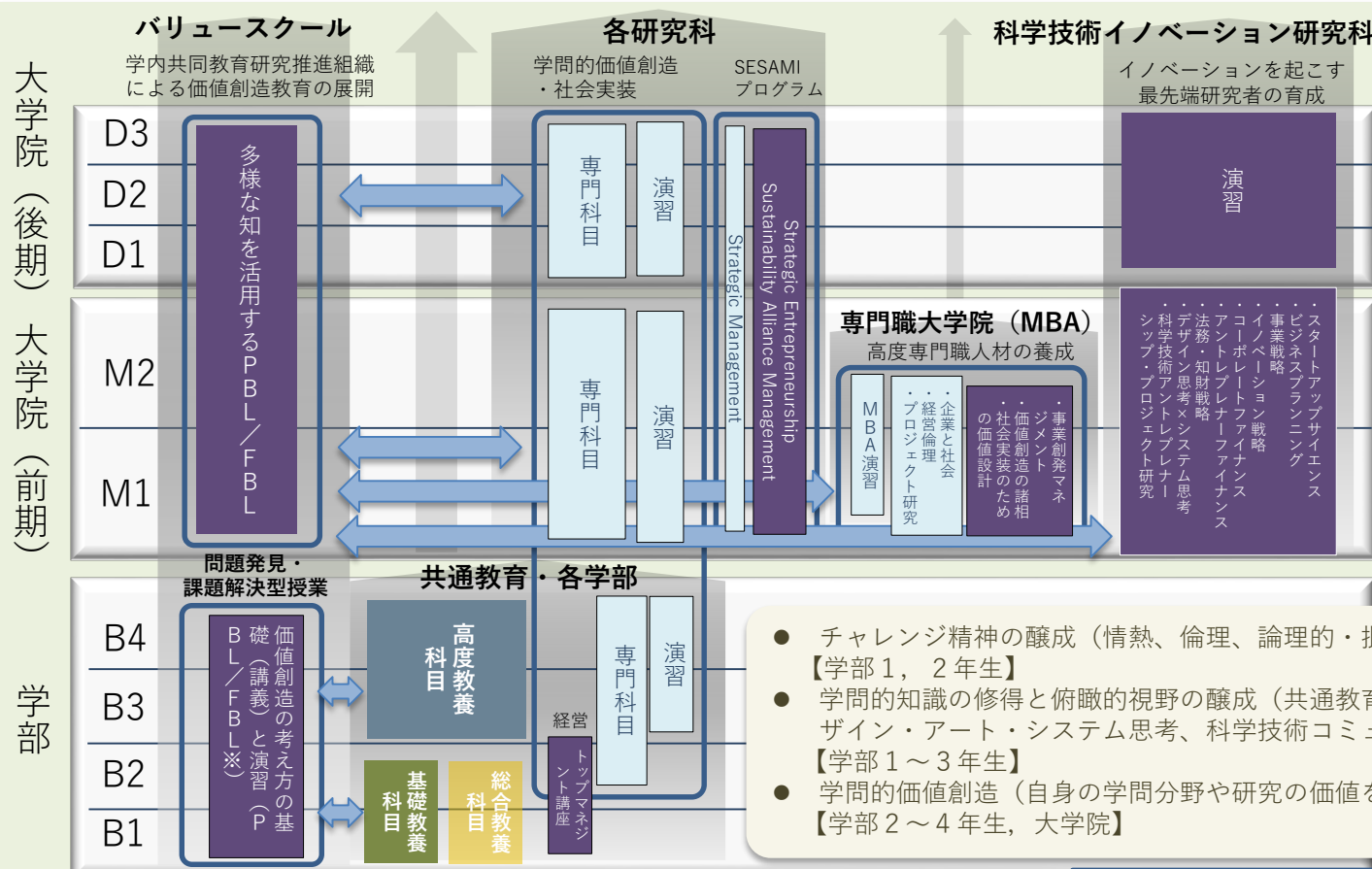
神戸スタンダード

複眼的に思考する能力

多様性と地球的課題を理解する能力

協働して実践する能力

学部・研究科・学内共同教育研究推進組織



共同研究・受託研究を通じた実践能力の涵養
大学発ベンチャーによる起業

産官学連携本部アントレプレナーシップセンター
学生起業(起業部)
(株)神戸大学イノベーション(共同研究・事業化・創業支援)
(株)神戸大学キャピタル(ベンチャー企業支援)

- チャレンジ精神の醸成 (情熱、倫理、論理的・批判的思考) 【学部1, 2年生】
- 学問的知識の修得と俯瞰的視野の醸成 (共通教育、専門教育、デザイン・アート・システム思考、科学技術コミュニケーション) 【学部1～3年生】
- 学問的価値創造 (自身の学問分野や研究の価値を創造) 【学部2～4年生, 大学院】

座学と実践的科目、実践的課外活動の多様な選択肢(学部・大学院) 研究科における学問的価値創造(大学院) +イノベーションを起こす研究者、高度経営専門職人材の養成に特化した部局におけるカリキュラムの充実 (科学技術イノベーション研究科、経営学研究科専門職大学院) 多様な知を組み合わせた価値創造の考え方(バリュースクール) 起業、創業に向けた選択肢・サポートの充実(産官学連携本部との連携)

※ PBL/FBL: プロジェクト・ベースド・ラーニング/フィールド・ベースド・ラーニング

備考	学部・研究科の科目	アントレプレナーシップの醸成に とくに関連性の高い科目
----	-----------	--------------------------------

多様な学生の獲得



Highly motivated students



高大連携(研究サポート・公開授業・出前授業・大学体験・サイエンスセミナー等)
事前科目履修・単位認定
高大接続卓越人材育成センター

特色ある入学者選抜

オープンキャンパス、大学見学
進学相談会 (Webを含む)
入試説明会など

学力重視型

- 一般選抜 (前期日程・後期日程)
- 海洋政策科学部：「理系科目重視型」
「文系科目重視型」
- 国際人間科学部環境共生学科：
「理系系受験」
「文化系受験」
- 経済学部：「数学受験」
「英数受験」
「総合受験」

高校時代の専門分野を問わず
自身の得意な科目で挑戦可能

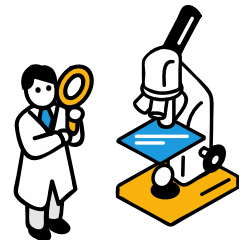


学力 + 主体性評価重視型

- 「志」特別選抜
論理的思考力・記述能力、知的探究力等の評価
- 総合型選抜 (大学入学共通テスト利用)
- 国際人間科学部発達コミュニティ学科
「スポーツ科学受験」
「音楽受験」「美術受験」「身体表現受験」
- 国際人間科学部環境共生学科
「理数系科目受験」
- 理学部生物学科、理学部惑星学科、医学部医学科
- 学校推薦型選抜 (大学入学共通テスト利用)
- 国際人間科学部グローバル文化学科(英語外部試験・面接)
- 経済学部：50人
経営学部：40人
医学部医学科：地域特別枠
医学部保健学科作業療法学専攻(大学入学共通テスト3教科)

多様性重視型

- 社会人特別選抜
国際人間科学部
発達コミュニティ学科
環境共生学科
子ども教育学科
- 外国人特別選抜
- 編入学
- 飛び入学



多様な学生獲得の方策：☆学生から見て魅力ある大学に☆

国内外の大学との連携、単位互換・独自の奨学金制度の検討・学生寮の充実化など

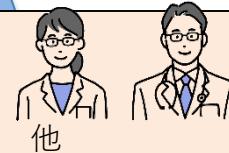
☆広報活動の改善充実☆

OBOG訪問、オープンキャンパス、高校教員との意見交換など

高大接続を通じた社会をリードする卓越した人材の育成

大学院

- 分野横断型プログラム
- スタートアップ支援
- PhD インターンシップ
- 助成金申請サポート



入学後教育

- 海外留学
国際コミュニケーション力の実践的修得
体験を通じた多様性の理解
国際社会でのアイデンティティとミッションの自覚
- 研究室早期配属
課題発見力の育成
専門知識の修得
- 「志」特別セミナー
- 学会参加サポート 他



高大接続
卓越グローバル人材
育成センター

戦略企画部門

入学後教育部門

アドミッション
オフィス部門

高大連携部門

入学者選抜 : 「志」特別選抜等 特別選抜, 一般選抜

優れた資質を持つ高校生等の発掘・育成

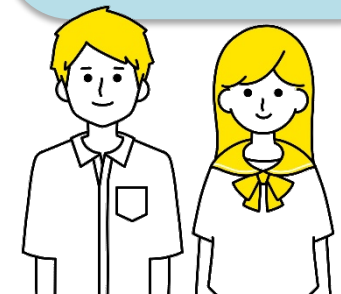
高校生・中学生等

- 高校生・中学生に向けた取組
JSTグローバルサイエンスキャンパス (2021-2024)
「“越える”力を育む国際的科学技術人材育成プログラム (ROOTプログラム)」科学技術分野で優れた資質を持つ高校生等を発掘し、大学での研究活動等を通じて国際性を含む能力を飛躍的に高める

- 中学生・小学生に向けた取組
JSTジュニアドクター育成塾 (2022-2026)
「神戸みらい博士育成道場」共に学び合う道場的な場を提供し、「未来を描く力」、「未来を切り拓く力」など科学を基盤としたアントレプレナーシップの醸成を目指す

- 地域連携
教育委員会
SSH・SGH等高等学校
企業
先端研究機関 他

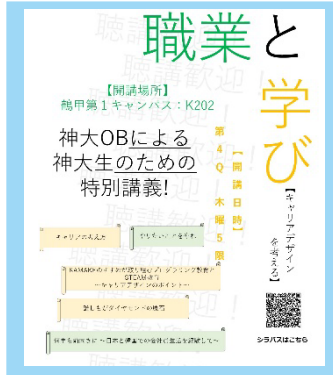
- 国際連携
ワシントン大学URP 他



主体的なキャリアデザイン力の強化

高い志を持ち、主体的に大学での学びを形成し、グローバルに活躍するためのキャリアデザイン力の強化

社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義（総合教養科目）



神戸グローバル
チャレンジプログラム

- フィールドワークコース
- インターンシップコース
- 言語・文化研修コース

海外外国語研修



海外留学・
インターンシップ

グローバル社会の
リーダーへ

進路を選択する

キャリアガイダンス・
企業とのマッチングイ
ベント等の支援

挑戦する

自律的・主体的に行動する

自己を認識し課題に気づく

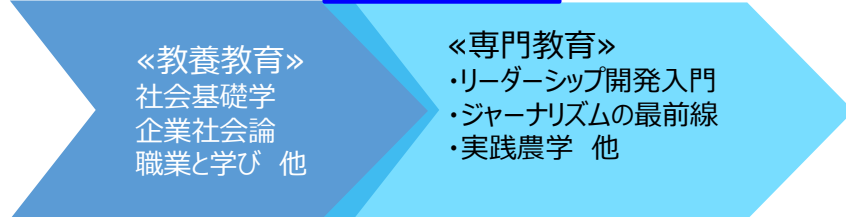
キャリア科目

主体的学修態度を学ぶ
初年次セミナー

高い志をもつ

夢や目標を描く

新入生キャリアガイダンス



学内外のキャリア形成サポート



次世代研究者人材育成の強化

深い専門性の涵養や、異なる分野の研究者との協働等を通じて、研究者としての幅広い素養を身に付けさせるとともに、独立した研究者として自らの意思で研究を遂行できる能力を育成することで、アカデミアのみならず産業界等、社会の多様な方面で求められ、活躍できる人材を養成する。

★博士研究者人材育成強化

・大学院博士支援推進室の設置

教育・研究等の部門枠を越えた全学総支援体制

・中長期インターンシップの推進

異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト

数理・データサイエンスの素養を持ち
卓越した学際領域で活躍できる博士人材の育成

A 教育支援

- A-1 数理・データサイエンス教育プログラム
- A-2 大学院異分野共創型教育プログラム
- A-3 医工融合プログラム
- A-4 研究グローバル展開力育成コース

B 研究支援

- B-1 全学センター主催研究会
- B-2 異分野共創研究発表会
- B-3 大型施設利用プログラム
- B-4 神戸大学プレミアム・プログラム
- B-5 若手研究者グラント獲得支援

C キャリア支援

- C-1 中長期インターンシップパッケージ
- C-2 博士人材と企業の交流会
- C-3 若手研究者による個別ヒアリング
- C-4 大学教員育成プログラム

神戸大学博士学生支援総合パッケージ

事業名称

特徴

ジョブ型研究インターンシップ推進事業

2か月以上かつ有給、正規の教育課程の単位科目、面談評価の実施など52企業・67大学が参画し自然科学系博士学生の進路の拡大

神戸大学インターンシップ事業

企業課題・ニーズと研究テーマを繋ぎ、理系だけでなく文系博士のインターンシップを実施

産学協働イノベーション人材育成事業

産業界のニーズを大学院教育に反映し、31企業×18大学の交流を通して新たな価値の創造を実現するイノベーション人材の育成

・博士学生研究修学環境の整備

安定して研究に専念できるよう研究専念支援金（生活費＋研究費）を支給するなど博士学生の修学環境を整える

・博士学生フェロシップ制度

・博士学生プロジェクト研究員制度

・次世代研究者挑戦的研究プログラム制度

・キャリアパス支援

・博士学生キャリアガイダンス

・大学教員準備講座

・博士と企業の交流会

リカレント教育

トップローヤーズ・プログラム (TLP) 法学研究科

2016年設置。若手中堅の弁護士を主たる対象とし、オンライン会議システム等のICTを活用して、日本を代表する弁護士と法学研究科教授陣と一緒に授業を提供するPh.D.(博士号)プログラム。高度な法律実務を担う専門的法曹を組織的に育成し、ひいては日本法のグローバルな影響力を獲得することを目的としている。文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されている。



MBAコース 経営学研究科

実務経験のある社会人のための教育プログラム。学部レベルを超えたより高度な経営学に関する知識を働きながら身につけることを目的としている。
 ①「プロジェクト方式」(PRM: Project Research Method)、
 ②「働きながら学ぶ」(BJL: By the Job Learning)、③「研究に基礎をおく教育」(RBE: Research-based Education)の3つのコンセプトで構成されている。



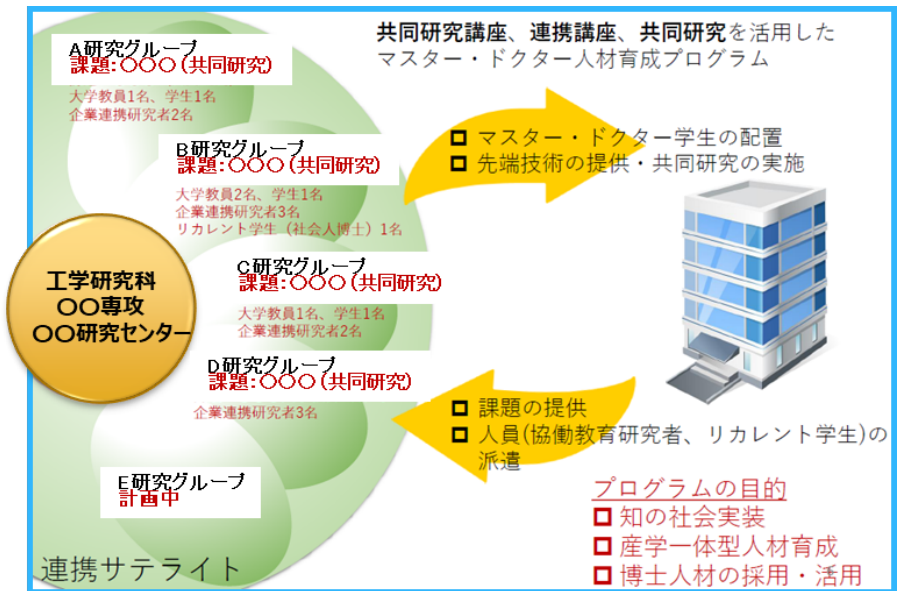
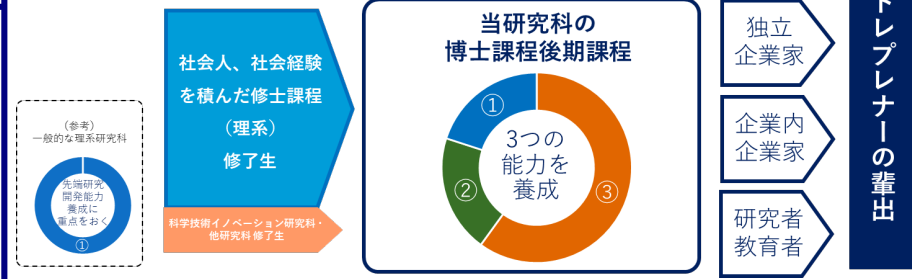
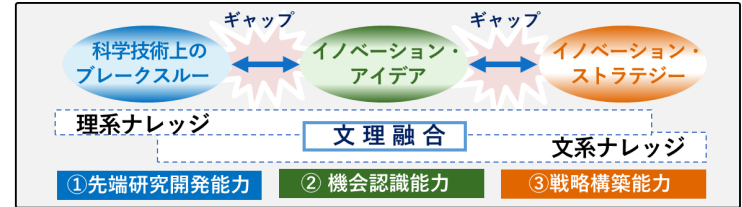
教育の産学連携

インダストリアルマスター・ドクタープログラム 工学研究科

IMDプログラムは、大学と企業が教育と研究において、学術・技術課題を解決するだけでなくそこに至るプロセスも共有することによって、博士人材育成のための社会実装教育と産業界・技術者に対するリカレント教育を同時に提供するプログラムです。

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程

社会人や社会経験を有する修士課程(理系)修了生を積極的に受け入れて、独立企業家、企業内企業家等を養成する。2018年度設置。



科学技術アントレプレナーの輩出

共修・協働・交流による異文化間能力の涵養と、ICT活用による学習環境のボーダレス化により、多様化する新しい社会に貢献できる国際的資質を備えた人材を育成

教育の国際化とそのための基盤形成

- ・ 外国語による授業科目数の増加（※目標値：全授業科目数の15%）
- ・ 海外協定校との連携による国際共同教育の推進（※目標値：100科目）
- ・ 国内・海外の大学との相互提供も含めた国際共修授業科目の拡充
- ・ 基盤としての語学教育（対国内学生・留学生）、ICT環境の整備とICTリテラシー教育の充実
- ・ マイクロクレデンシャルの導入

留学の質の向上と拡大

- ・ 魅力あるプログラムによる派遣・受け入れの促進（※目標値：1500人派遣）
 - 【国内学生】 語学やインターンシップを含む多様な目的に応じた派遣プログラムの提供
世界一流の協定大学への交換留学・ダブルディグリープログラムの充実
 - 【留学生】 受け入れ部局にとらわれない、柔軟な学びの機会の提供
神戸の地域特性を生かしたプログラム提供、地域社会への参加促進
- ・ 留学の成果を最大化するためのプログラム設計
 - 【国内学生】 派遣前から派遣中・派遣後まで続く継続的な留学教育プログラムの整備
 - 【留学生】 専門や留学目的に応じた部局・プログラム配属。キャリア形成支援教育

海外ネットワークの拡充と活用促進

- ・ 海外協定校・海外同窓会との連携による国際教育・インターンシッププログラム開発
- ・ 海外拠点・海外同窓会を活用した卒業・修了留学生のネットワーク構築・強化
- ・ 海外における広報活動の強化によるプレゼンスの向上と優秀な留学生獲得

教育の国際通用力の強化

次世代リーダーを輩出する神戸大学グローバルエキスパートの育成

04

国際共修COILプログラム

- 留学生とともに学ぶマルチリンガル教育
- 国立台湾大学との協働プロジェクト教育
- 産学協働 Singapore SDGs Program
- 日仏タンデムプロジェクト

03

海外留学促進プログラム

- 英語選抜上級クラスACE/ACE+
- 留学を可能にする科目群の設置

02

アカデミックな英語力を実践的に習得

- キャリアパスと実力に応じた弾力的な科目履修を可能に

01

外国語初年次教育

- なぜ、何を、どう学ぶのか？
- 知の世界と学びの技法を知る

グローバルエキスパートとして国内外で活躍

神戸大学のすべての学生を多様な視野と先見性・課題解決力としなやかさを備えたグローバルエキスパートに

- ▶ 教養教育プログラムの大幅な再編
- ▶ ドイツ言語文化プログラムなど国際的なフィールドで実践的に学ぶプログラムの拡充
- ▶ 神戸大学グローバルエキスパート育成を促進するデジタルコンテンツの開発・配信
- ▶ 外国語パフォーマンス力を証明する神戸大独自のテスト・評価システムの開発

グローバルエキスパート育成を強力に推進する
教養教育・外国語教育改革

国際共同・国際共修プログラム



国内外の協定大学・海外拠点との連携・共創&ICTを活用したニューノーマル期の国際教育プログラムを推進
“International Education for All KU Students”

国際共修 (Intercultural Collaborative Learning)

文化や言語の異なる多様な学生同士 (国内学生・留学生) が、協働学習体験などの意味ある交流 (Meaningful Interaction) を通して、相互理解を深めながら他者を理解し、己を見つめなおし、新しい価値観を創造する一連の学びのプロセス

文部科学省
大学の国際化推進フォーラム
(令和3~5年度)

国際共修ネットワークによる
大学教育の内なる国際化の加速と世界展開



海外協定校
373校
(2023)

海外拠点
8か所
(2023)



- 国際共修プログラムの共同開発
- オンライン&ハイフレックス授業の相互提供



海外卓越大学&海外拠点との連携による国際共同プログラム

- 協定校とのオンライン協働授業
 - 海外一流研究者のオンライン講義
 - オンライン国際交流プログラム
 - オンライン海外インターンシップ
- オンライン・オンサイト・ハイフレックスなど多様な形態で展開



国内外の大学との連携により
国際共同プログラム&国内学生・留学生の国際共修のノウハウを獲得

教養教育院の改革に即した多文化多言語共修&国際共修の拡充
(先行事例：R5開講複言語共修共修セミナー・グローバルエキスパートセミナー)
国際共修に関連するFD&SDの推進
全学展開により全ての神戸大学生に国際教育の機会を提供

多元化・複雑化・流動化する社会に対応できる柔軟性、寛容さ、レジリエンスを涵養
現代社会・近未来の社会課題の解決を先導する次世代のグローバルリーダーを育成

海外ネットワークを活かした教育における国際連携



本学の海外拠点・協定校並びに海外同窓会ネットワークを強化・活用することにより、グローバルな環境における教育・研究・キャリア形成を支援

海外ネットワークの強化

- ・新規の「**国際人材バンク**」構築による、学びの継続性と大学の人的リソースと知的循環を活性化するための基盤づくり
- ・ICTを活用した新たな形態の海外同窓会立ち上げや地域の特色を活かした**戦略的拠点づくり**

※数値は2023年

国内・海外同窓会

15箇所

海外協定校

373校

海外拠点

8箇所

海外協定校との連携・海外拠点の活用による国際教育・研究活動の促進

- ・国際共同教育プログラムの開発
- ・学生・教員間の交流促進
- ・国際シンポジウム・研究会の開催
- ・海外広報活動によるプレゼンス向上

卒業・修了留学生との連携強化による留学教育・キャリア形成支援の活性化

- ・教育・研究機関で働く元留学生との連携強化と協働促進
 - ICTを活かした授業へのゲストスピーカー
 - アカデミックキャリアセミナーでの講演
 - 海外研修前の指導助言
 - 海外研修中のアドバイス
- ・海外インターンシップ先の共同開発
- ・国内学生の海外就職支援
- ・留学経験者のためのリカレント教育
- ・優秀な留学生のリクルート

受入留学生 ← 国際的な連携による、入口から出口までを見据えた戦略的人材育成
本学全学生 ← 独自の海外ネットワークを活かした、グローバルに活躍できる先導的人材育成

学生の海外派遣教育の拡充

国内学生の海外経験を段階的に高める国際教育プログラムを全学的に展開

国際教育プログラムの重層的構築

海外派遣学生数2027年：1500名

・多様かつ段階的なプログラム構築

語学だけでなく、インターンシップを含む、本学独自開発の多様な派遣プログラムを提供
 (神戸グローバルチャレンジプログラム(GCP)等)

超短期から交換留学さらには大学院レベルまでの段階的なプログラム設計支援
 世界一流の協定大学への交換留学・ダブルディグリープログラムの充実

・グローバル人材育成の評価と海外学修成果の可視化 (新規)

留学の成果の定量的評価システム (BEVI-j) の活用

→留学効果の最大化とデータの蓄積

→学生データベースの構築とエビデンスに基づくプログラムの開発と改善

→JASSO奨学金 (海外留学支援制度) 等への積極的活用

・派遣前・中・後の継続的な教育・学修支援

・奨学金応募支援 (JASSO奨学金の大学申請や競争的学外奨学金等の獲得支援・学内選考等)

オンライン・ハイ
フレックスを含む
多様な形態

多様なニーズに応える海外派遣のプログラム開発支援

・ICT環境の整備による派遣先からの遠隔参加でのシームレスな授業履修

→ポストコロナを視野に入れた新たな感染拡大など想定外の事態に対応できる緊急時対応計画を含める。

留学体験者による教育の活性化

・派遣中の学生による、留学先での本学のプレゼンテーション・プロモーション

・派遣後の学生を活用した学内教育の活性化

・派遣学生に対するグローバル発信力＝英語などの現地語学力の強化 (語学集中コース等)

学内外コミュニティへの留学生の主体的参加を促進

共修による異文化交流の促進
国内学生・外国人留学生との共修を通じた異文化交流の実践と深化

- ・国際共同教育・国際共修科目
- ・異文化理解教育

英語による高度な専門教育の提供
言語の障壁を下げ、専門領域の学習を促進

- ・英語による専門科目の提供
- ・英語による学位取得PG

多様化する新しい社会を担う人材

- + 高度な専門知識
- + 国際的資質
- + 寛容性
- + レジリエンス

専門領域の最先端を神戸大学で学びたい！

多様なニーズに応じた日本語教育
レベル・技能別に日本語力向上

- ・学内・地域コミュニティ参加
- ・留学前からの継続学習
- ・専門科目への参加

博士後期課程
(正規生・交換留学生・DD生)

博士前期課程
(正規生・交換留学生・DD生)

グローバルキャリア形成支援
キャリア教育で日本での就職促進

- ・グローバルキャリアセミナー、グローバルジョブフェアの開催
- ・海外同窓会ネットワークの活用

日本で働きたい！

学部生
(正規生・研究生)

もっと日本語の勉強がしたい！

交換留学生

短期PG生

短期PGによるプロモーション
神戸大学・地域への親近感の醸成

- ・日本語・日本文化研修プログラム
- ・高度な専門分野別サマースクール・研修等

地域交流・ネットワーク形成支援
地域・異文化理解促進と社会参画

- ・学校訪問・地域行事への参加
- ・留学生の能力を生かしたボランティア活動

神戸ってどんな所？

各種留学生サポート

修学・生活相談、キャリア支援、チューター制度、奨学金支援制度 等

特色ある日本語学習プログラムによる優秀な留学生の獲得



「神戸日本語プログラム」(2019年度~)により、留学生の受入れを促進

神戸日本語プログラム Kobe Japanese Program (KJP)

日本語学習ニーズの増加・多様化に対応した新たな日本語学習プログラムの開発を行い、魅力ある日本語学習プログラムにより、潜在的な留学需要を取り込み、留学生数増に繋げる。

従来の体制

文科省委託の国費留学生のみ、グローバル教育センター(GEC)に所属。
(予備教育生、日研生など)

交換留学生を含む他の留学生：部局に所属しながら、GECに通い、日本語科目を受講。



部局A

日本語を中心に勉強したいのに！

部局B



部局C...

招待ベースによる協定校対象の夏期プログラムを開講

協定校X

協定校Y

神大の短プロに参加したいけど招待がない

協定校Z

グローバル教育センター (GEC) への交換留学生の直接受入れ

① KJP for Exchange Students

半年~1年間の交換留学プログラム：2022年度~

- ・受入プログラムの新設による **留学生数増** (各学期定員20名、年間40名+)
- ・留学生配置のミスマッチ解消による **留学の満足度向上**
…日本語学習目的→GEC/専門の学習目的→専門に応じた部局へ
- ・神戸の地域特性や神戸大学の先端研究領域を学べる授業の提供
- ・国内学生とともに学ぶ **国際共修授業の開発**

短期プログラム：KJP Short-term Programsの整備・拡充

② KJP Winter Program

「神戸日本語プログラム1月セッション」2019年度~

- ・対象校・対象地域(豪州)のニーズに応じた日本語研修プログラム
- ・参加費徴収(収益)型。

③ KJP Summer Program

「夏期日本語日本文化研修プログラム」2003年度~

- ・協定校対象プロモーション型日本語研修プログラム→定員拡大へ
 - ・招待型(※参加費の一部を本学が負担)。
- その他、部局主導プログラムとの連携・新規プログラム開発推進

留学生グローバルキャリア形成支援

多様な属性の留学生のニーズに即したきめ細かい教育的支援により、グローバル社会をリードする専門性と実践能力を備えた高度人材を育成

神戸グローバルキャリアプログラム (KGCP)

グローバル教育センターによる

学生の属性・専門性・日本語力に応じた多様な支援

同窓会のネットワークを活かした就職支援

OBOG訪問/セミナー講師派遣/海外インターンシップ等

国内同窓会

企業

地方自治体

海外同窓会

海外拠点

ビジネスキャリア

ビジネス日本語教育

- ・ビジネス日本語科目
- ・日本語能力試験/BJT対策科目

就職支援

- ・留学生のためのキャリアセミナー (日本語・英語)
- ・内定者のための入社前セミナー
- ・グローバルジョブフェア (企業説明会)
- ・企業インターンシップ
- ・外資系企業との交流会

アカデミックキャリア

学術日本語教育

- ・上級・超級レベルの日本語教育
- ・アカデミックライティング教育・支援

アカデミックキャリア形成支援

- ・博士学生のための企業交流会 (専門・研究職)
- ・研究インターンシッププログラム
- ・高等教育に携わるOB・OGとの交流会

SPRING
事業対象
留学生支援
※キャリア
センターと
協働

文科省留学生就職促進プログラム(2020~2022年度)の継続・発展

理工・情報・IoT分野の学生から全学展開

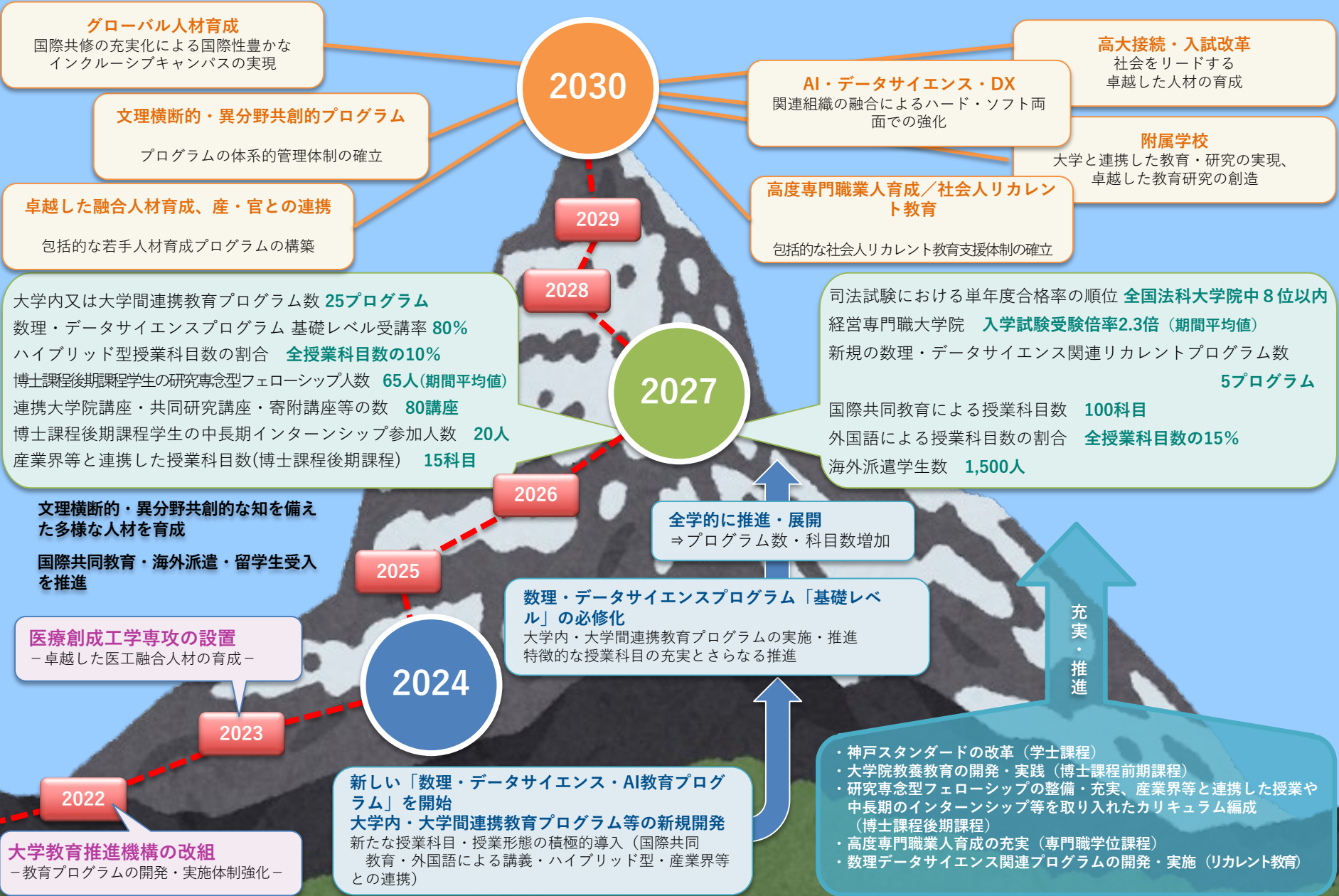
+各学部・大学院におけるキャリア教育

企業でグローバルに活躍する実践型高度人材

教育研究機関で活躍するアカデミック人材



2030年までのロードマップ



2030年までのロードマップ



中期目標期間	第4期						第5期
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
高度卓越人材の育成							
文理横断的・異分野共創的	大学内又は大学間連携教育プログラム（新規1プログラム/部局 計25）						プログラムの体系的管理体制の確立
AI・データサイエンス・DX	数理・データサイエンスプログラム（情報基礎学必修化による基礎レベル受講率80%）						関連組織の融合によるハード・ソフト両面での強化
	ハイブリッド型授業科目数10%						
卓越した融合人材育成 産・官との連携	連携大学院講座等(80)						包括的な若手人材育成プログラムの構築
	産業界と連携した授業（15）						
	博士課程後期課程学生の中長期インターンシップ（20人）						
	博士課程後期課程学生の研生活支援体制（フェローシップ人数65人）						
	医療創成工学専攻設置・運用、新学部設置検討						
高度専門職業人育成	グローバル・ビジネスロー教育プログラム（司法試験の合格率全国法科大学院中8位以内）						包括的な社会人リカレント教育支援体制の確立
	経営系専門職大学院のプレゼンス（入学試験受験倍率2.3倍（期間平均値））						
社会人リカレント教育	開発期間	数理・データサイエンス関連リカレントプログラム（新規1プログラム/年 計5）					

2030年までのロードマップ



中期目標期間	第4期						第5期
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
高度卓越人材の育成	国際共同教育プログラム（100科目）						国際共修の充実化による国際性豊かなインクルーシブキャンパスの実現
グローバル人材育成	外国語による授業科目数（15%）						
	海外派遣学生数（1500人）						
	留学生日本語教育・生活支援等の充実化						
高大接続・入試改革	高大接続卓越人材育成プログラム（ROOTプログラム・「志」特別選抜・入学後エリート教育）						卓越した博士人材の育成
附属学校	多様性・国際性・柔軟性に富む神戸大学と連携した教育・研究の充実 （プロジェクト数20%増・研究者番号付与者30%増加）						大学と連携した教育・研究の実現
	卓越した人材育成を目指した大学と連携した教育・研究の充実（成果発表数増加）						総合大学の附属学校園ならではの卓越した教育研究の創造
	幼少期の発達と教育に関する大学と連携した教育・研究の充実（成果発表数増加）						
	大学と連携したインクルーシブキャンパス構想への参画・貢献（プロジェクト発足・成果発表）						
	博士課程学生への教育研究能力向上に貢献するシステム検討						博士人材の育成への協力